

令和5年度病床機能報告結果（圏域別）

東京都保健医療局医療政策部

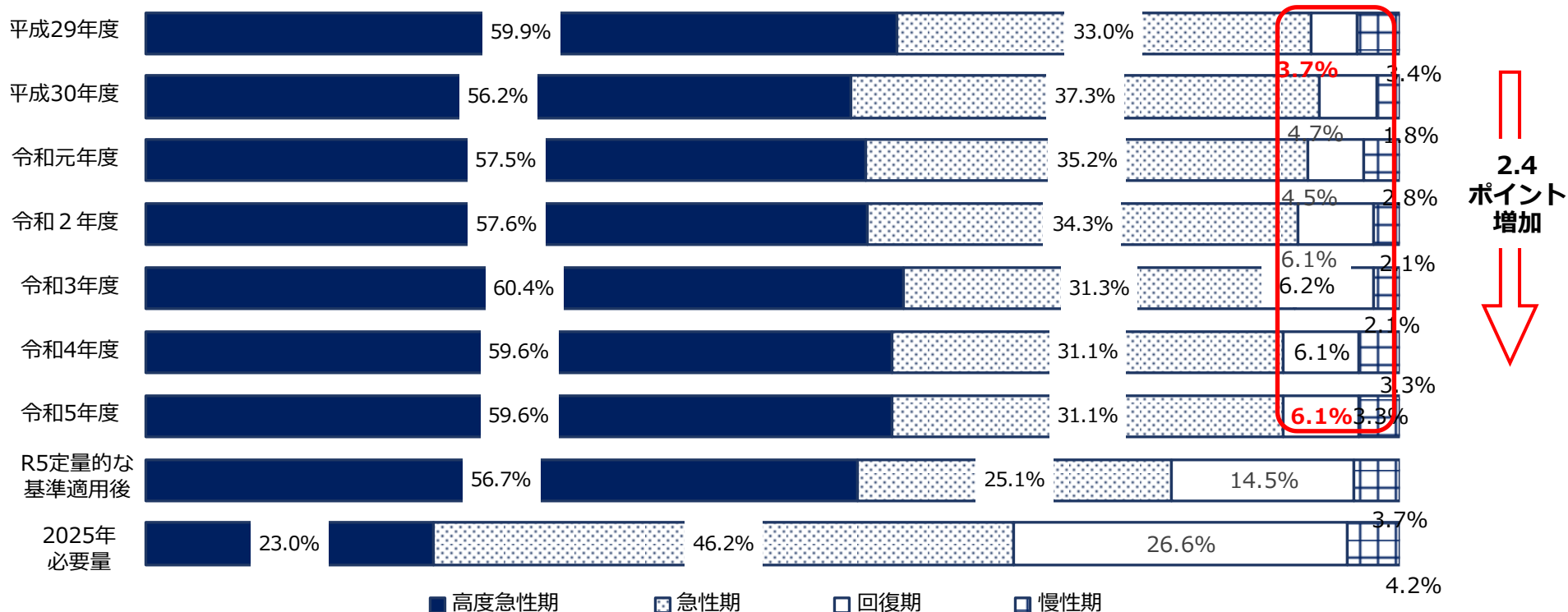
目次

| | |
|-------|----|
| 区中央部 | 2 |
| 区南部 | 5 |
| 区西南部 | 8 |
| 区西部 | 11 |
| 区西北部 | 14 |
| 区東北部 | 17 |
| 区東部 | 20 |
| 西多摩 | 23 |
| 南多摩 | 26 |
| 北多摩西部 | 29 |
| 北多摩南部 | 32 |
| 北多摩北部 | 35 |

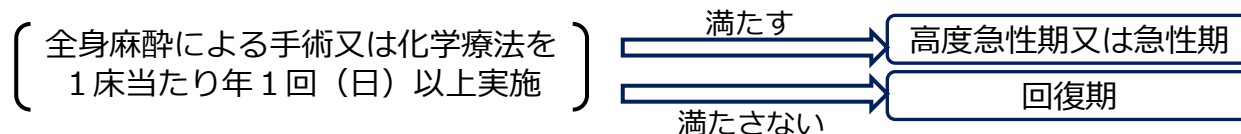
【区中央部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では 2.4ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

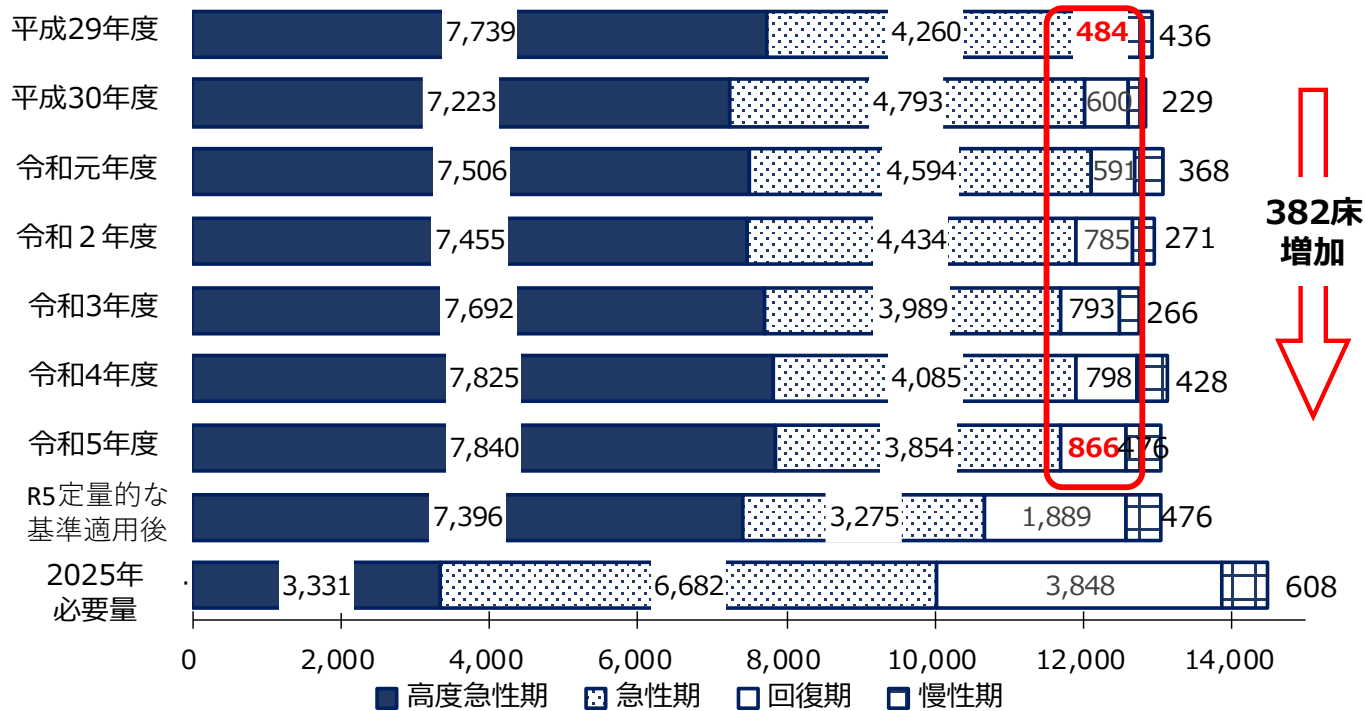


（出所）病床機能報告より作成

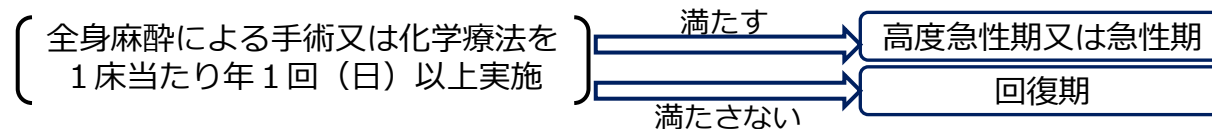
【区中央部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では 382床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



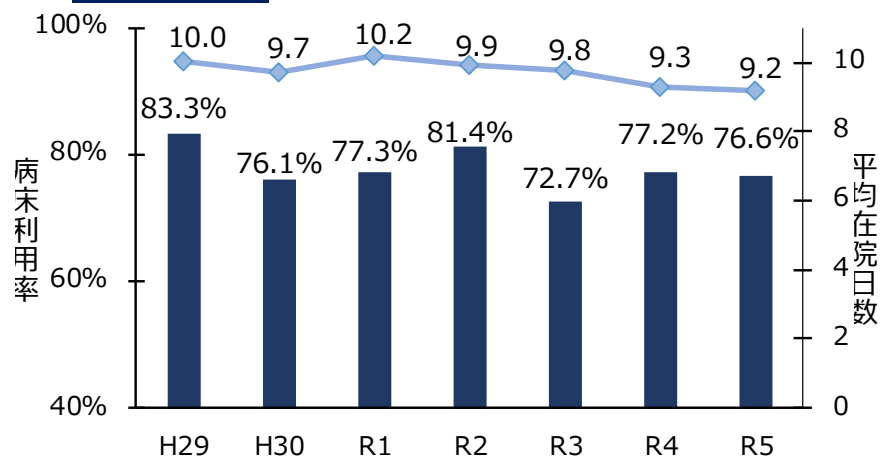
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



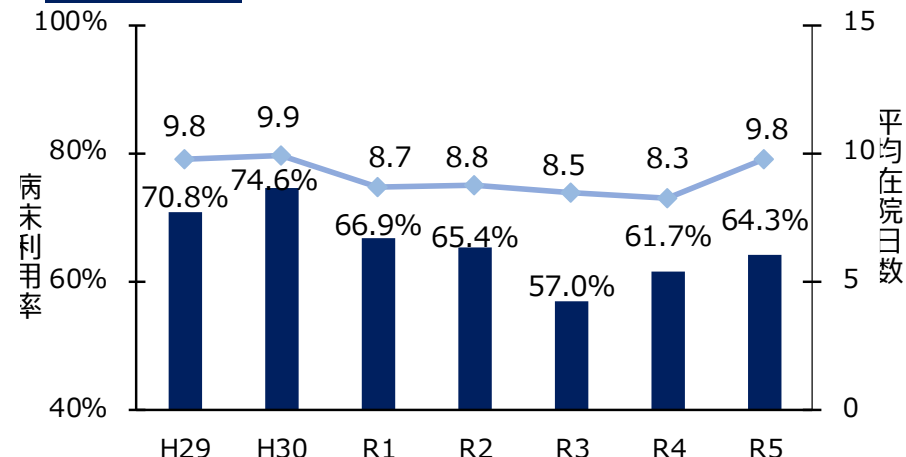
（出所）病床機能報告より作成

【区中央部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

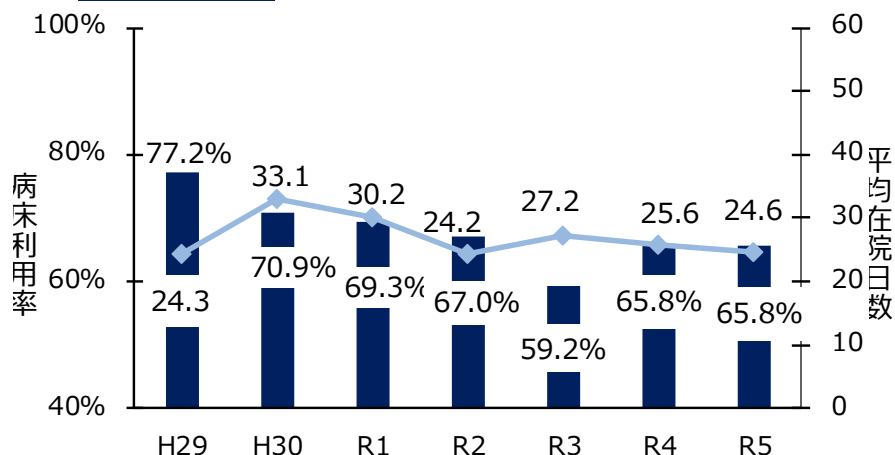
高度急性期



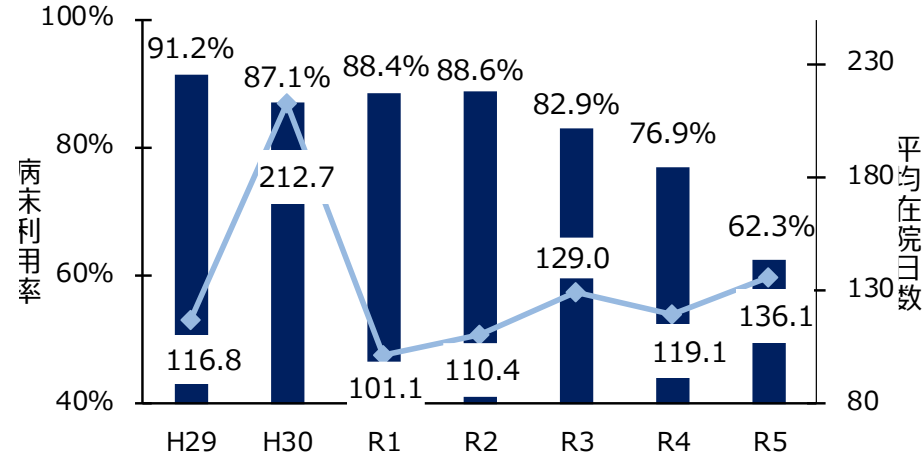
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

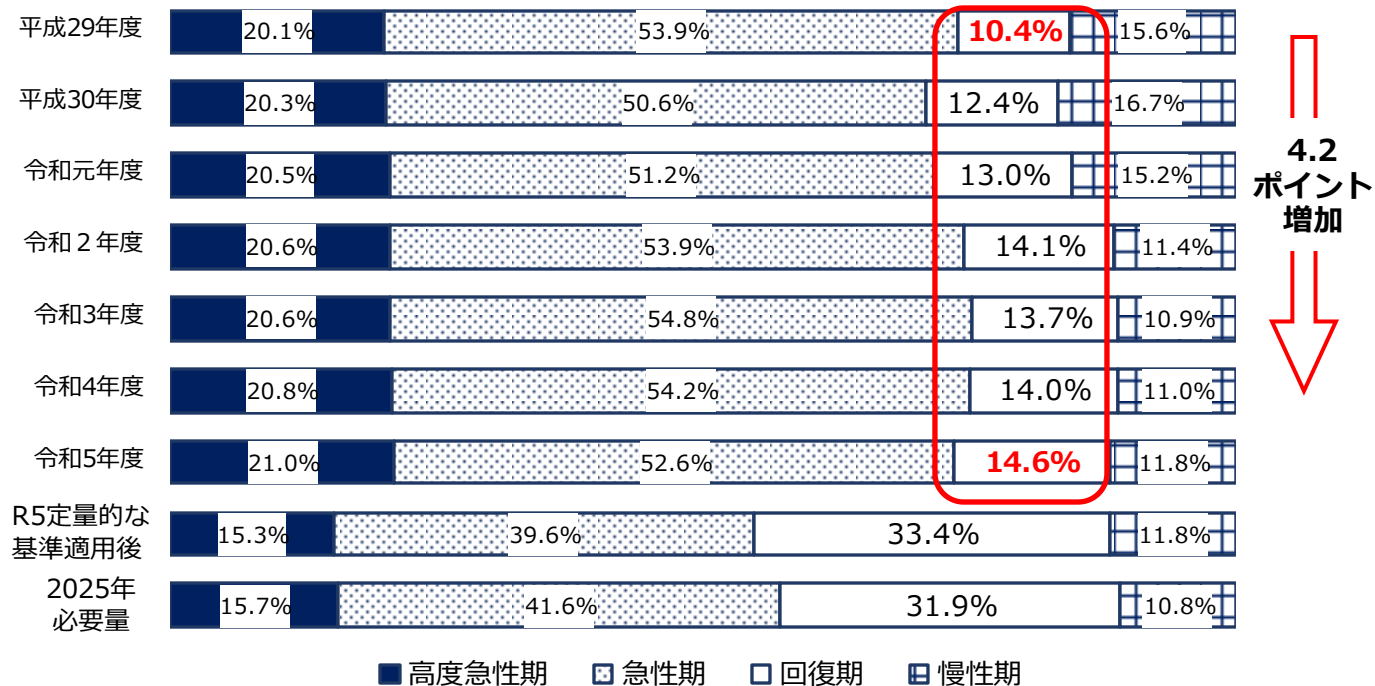
平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

■ 病床利用率
 ◆ 平均在院日数（右軸）
 （出所）病床機能報告より作成

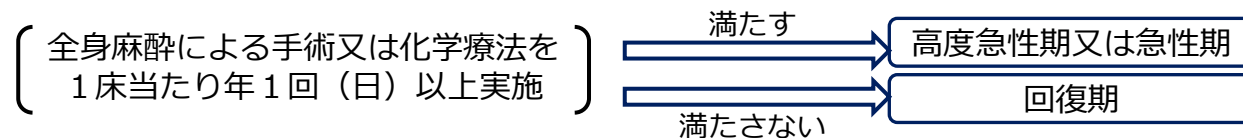
【区南部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では 4.2 ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

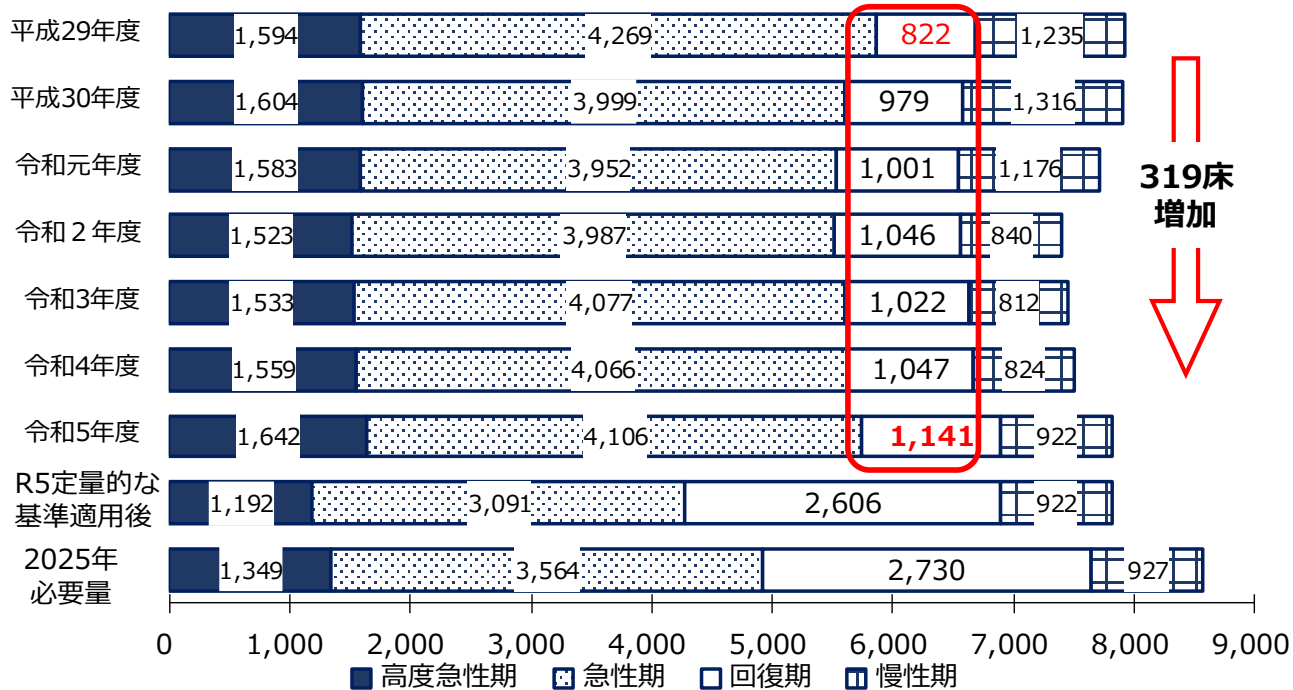


（出所）病床機能報告より作成

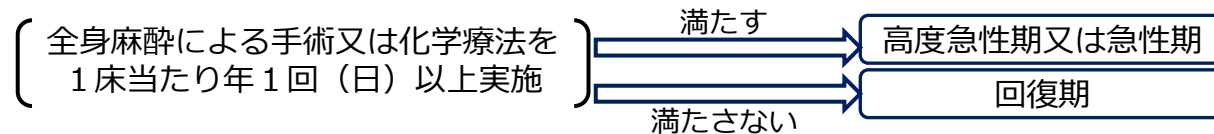
【区南部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では 319 床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



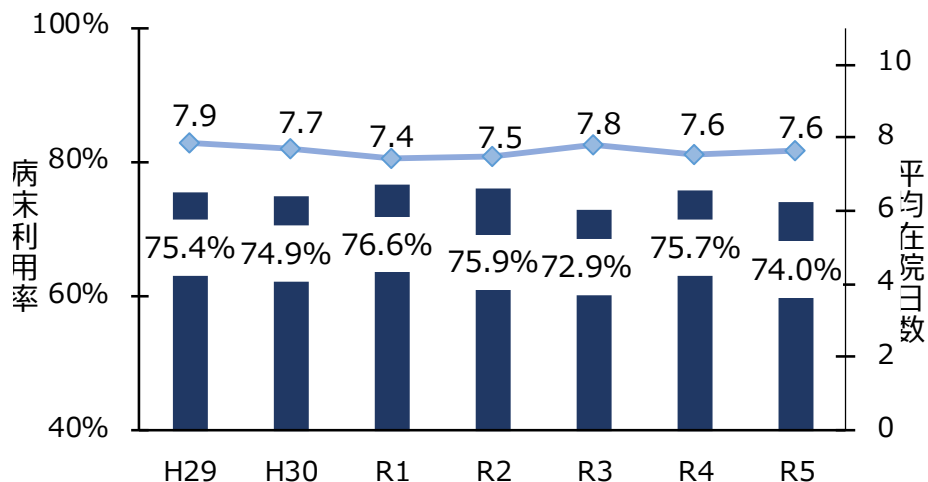
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



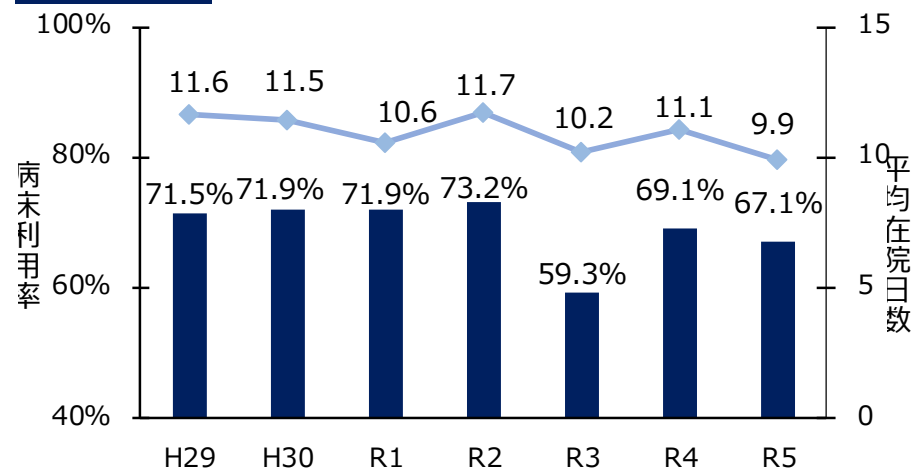
（出所）病床機能報告より作成

【区南部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

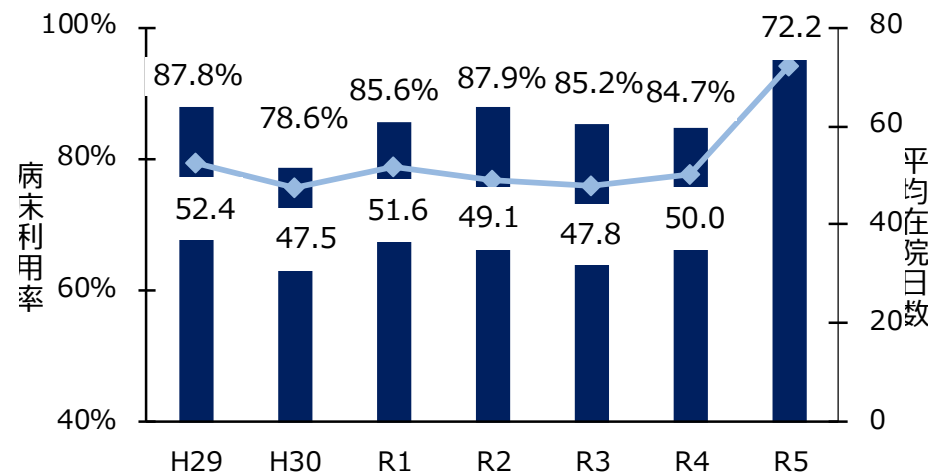
高度急性期



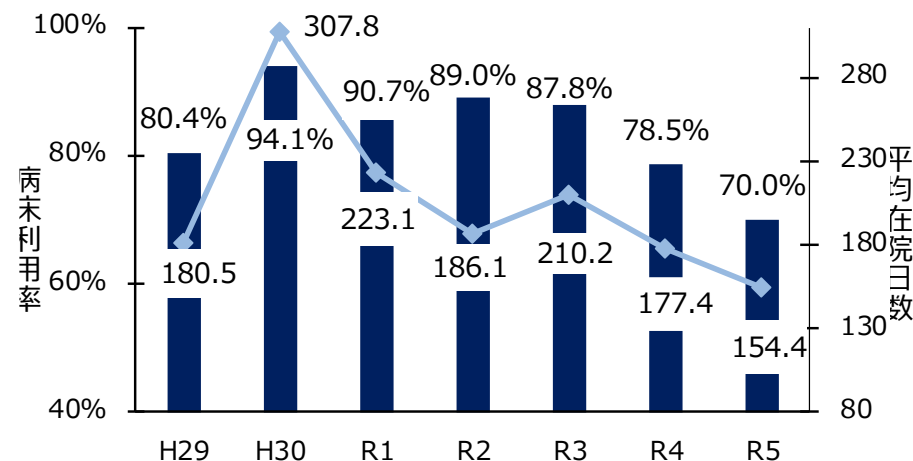
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

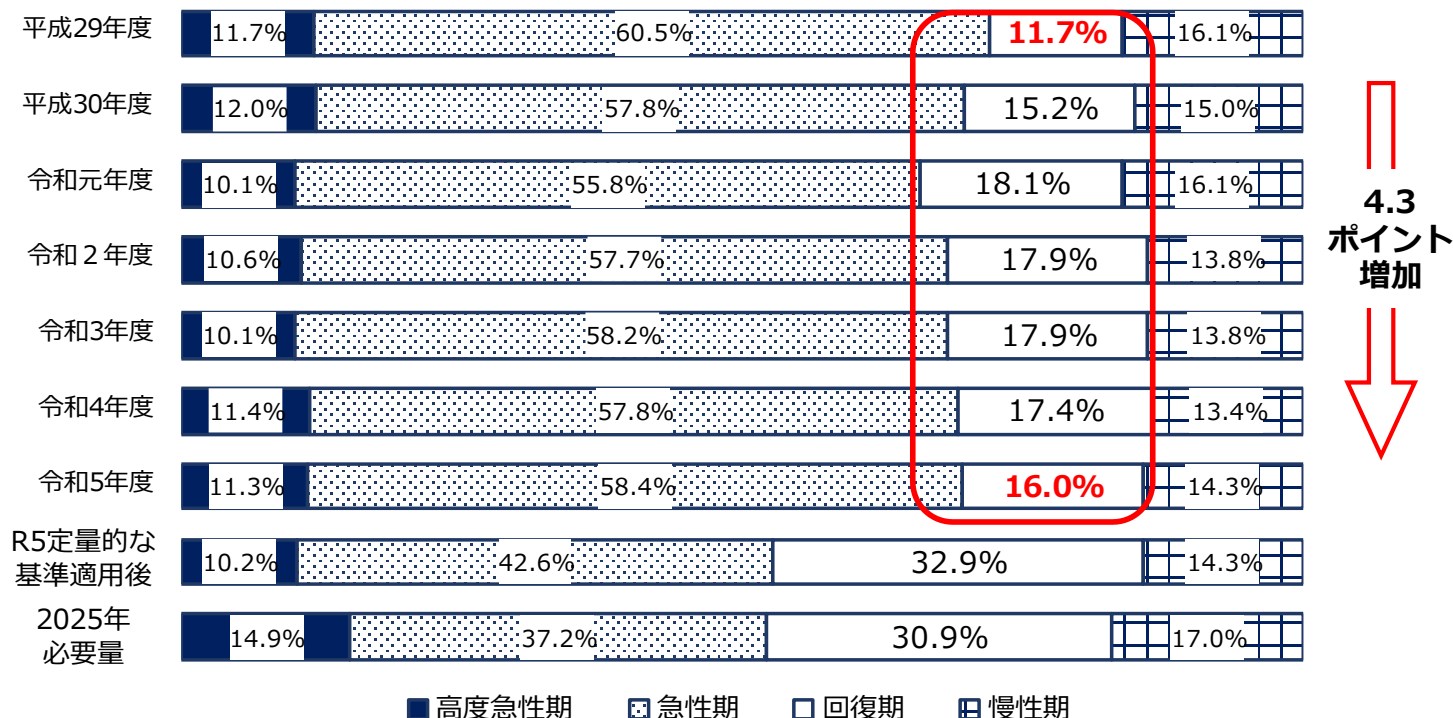
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

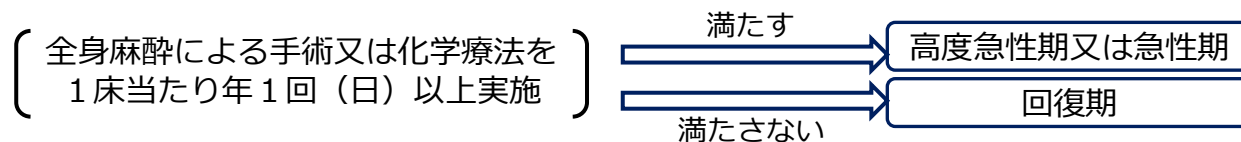
【区西南部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では 4.3 ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

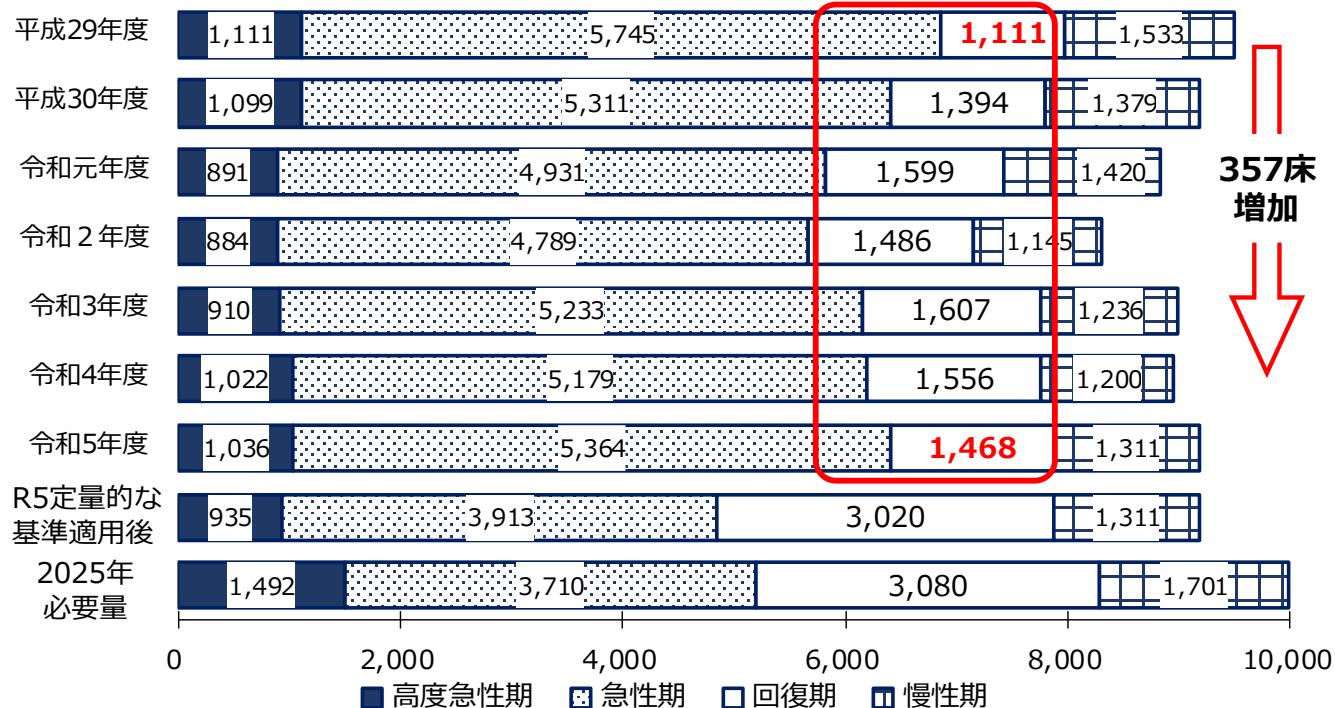


（出所）病床機能報告より作成

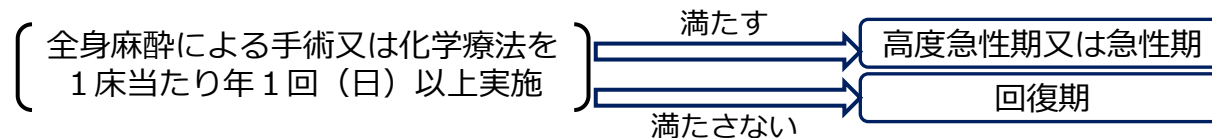
【区西南部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では 357 床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



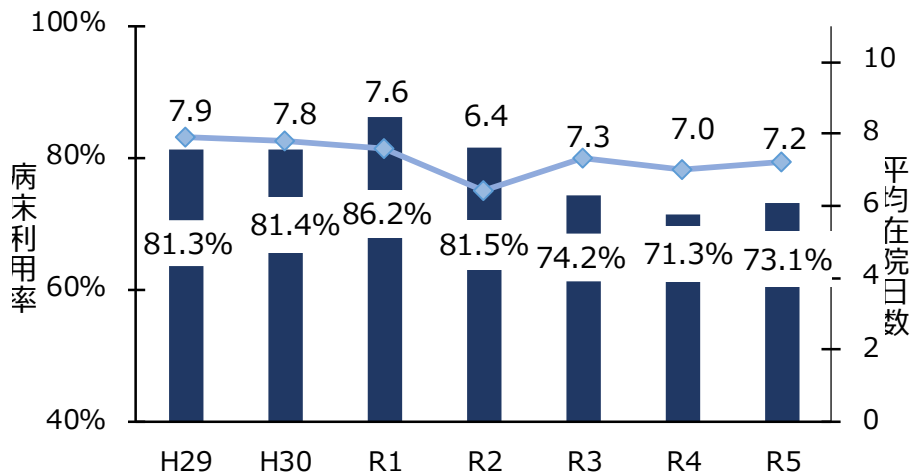
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



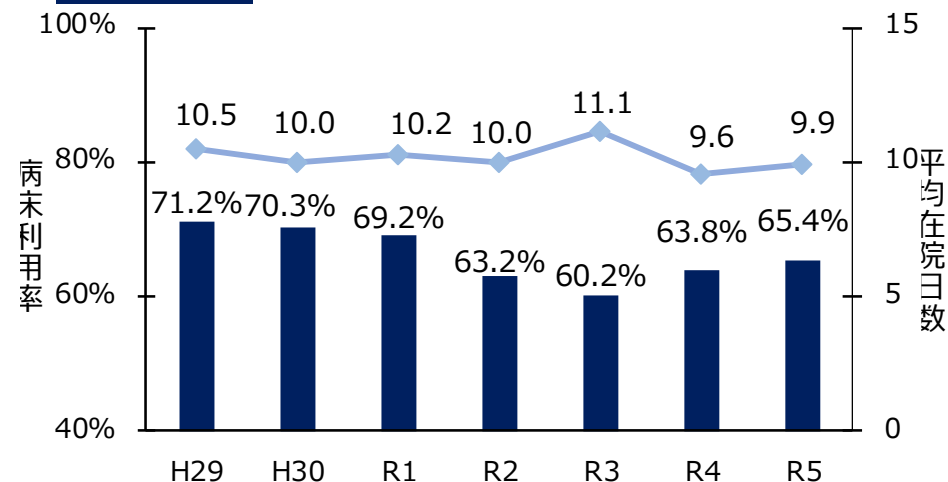
（出所）病床機能報告より作成

【区西南部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

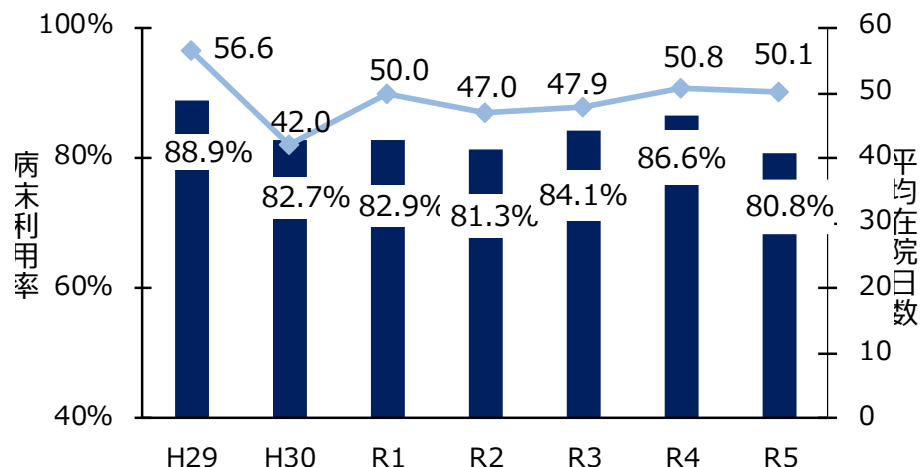
高度急性期



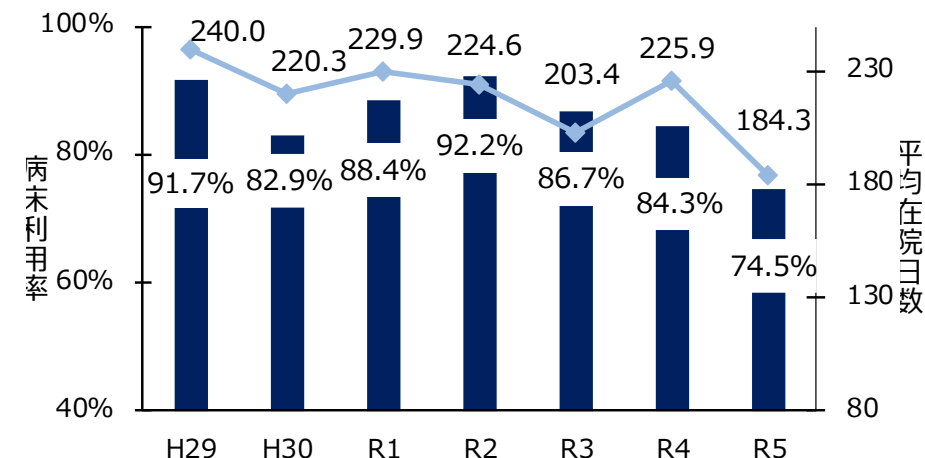
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

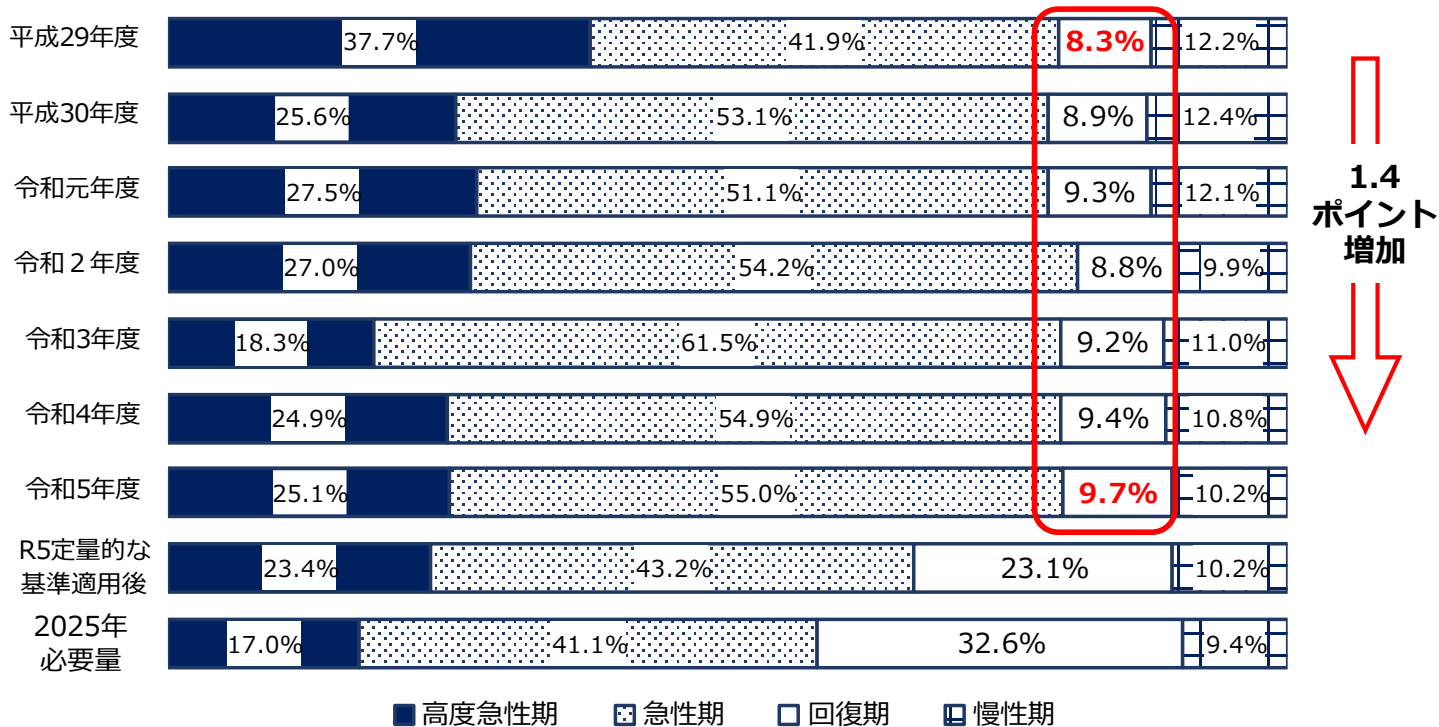
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

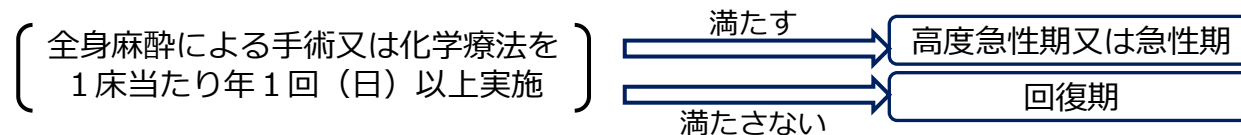
【区西部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では1.4ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

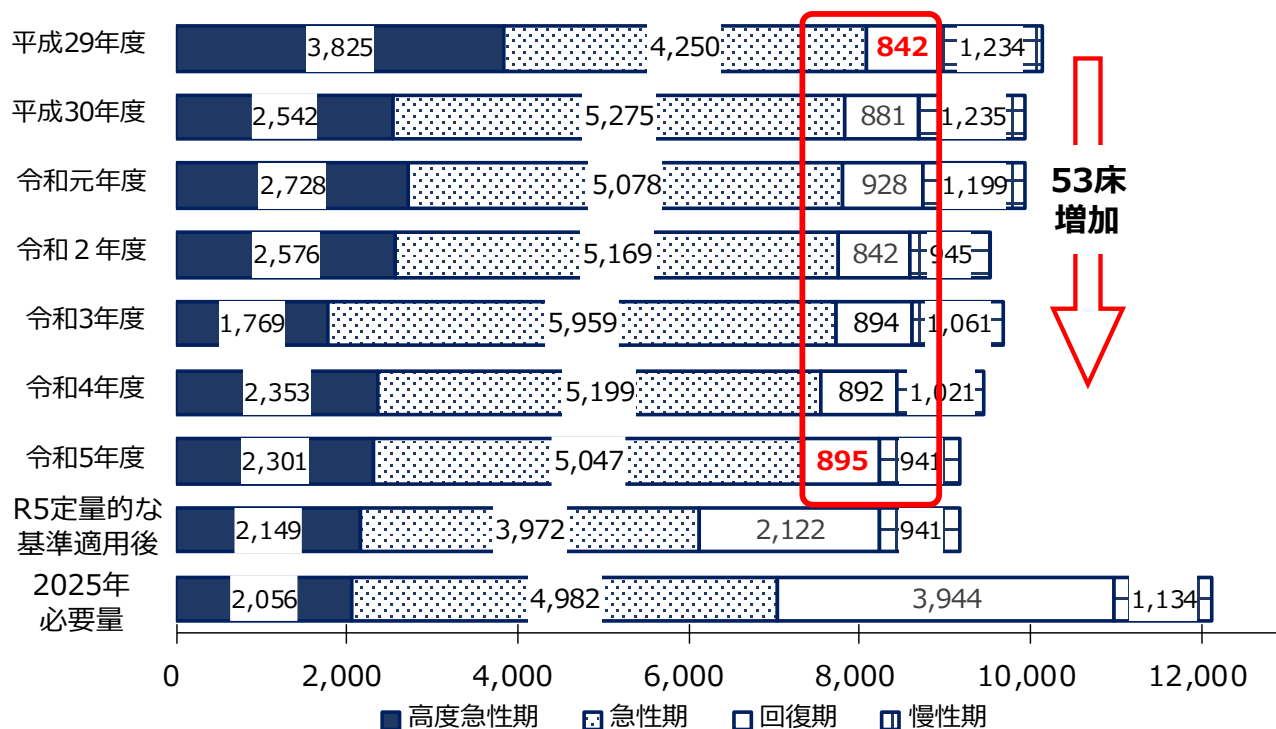


（出所）病床機能報告より作成

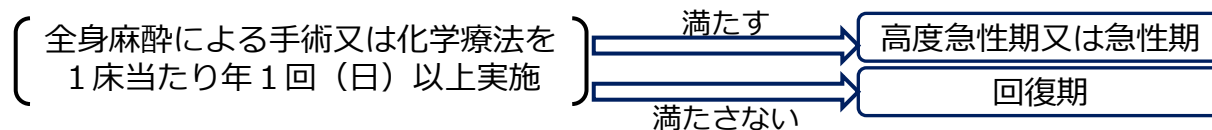
【区西部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では53床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



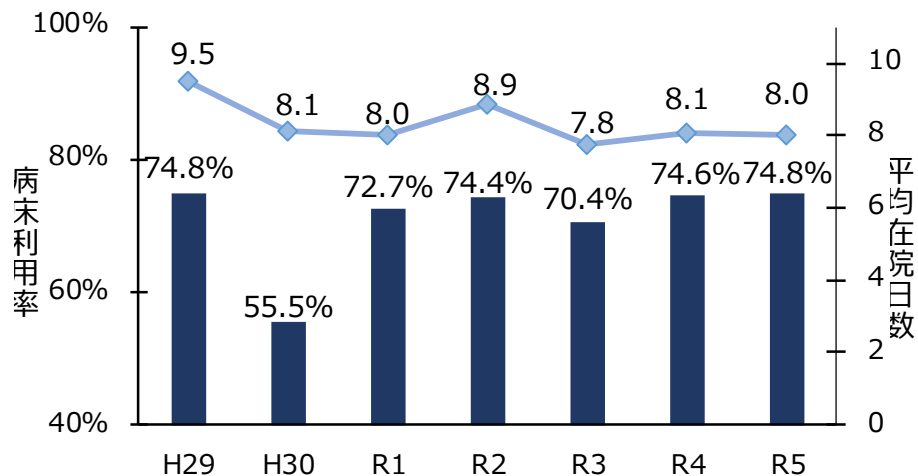
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



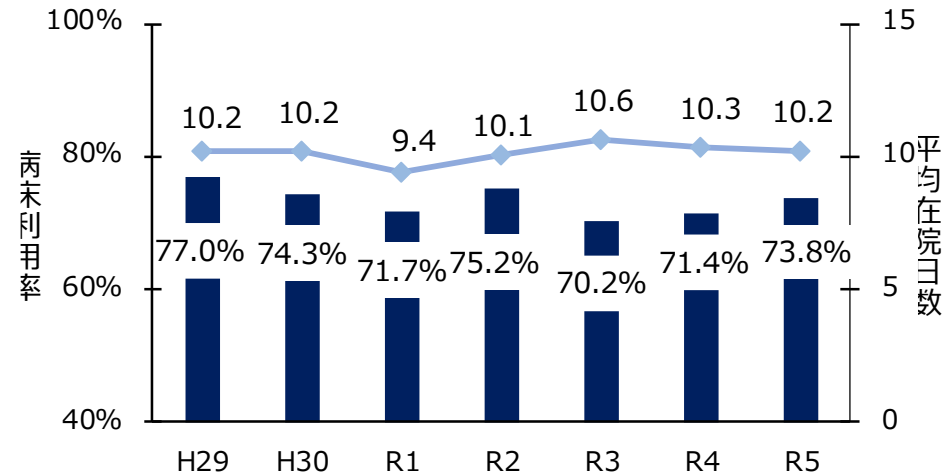
（出所）病床機能報告より作成

【区西部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

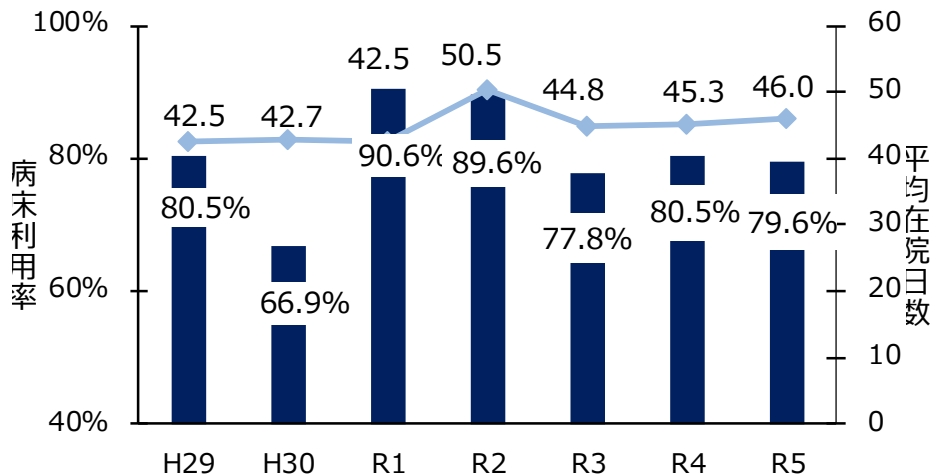
高度急性期



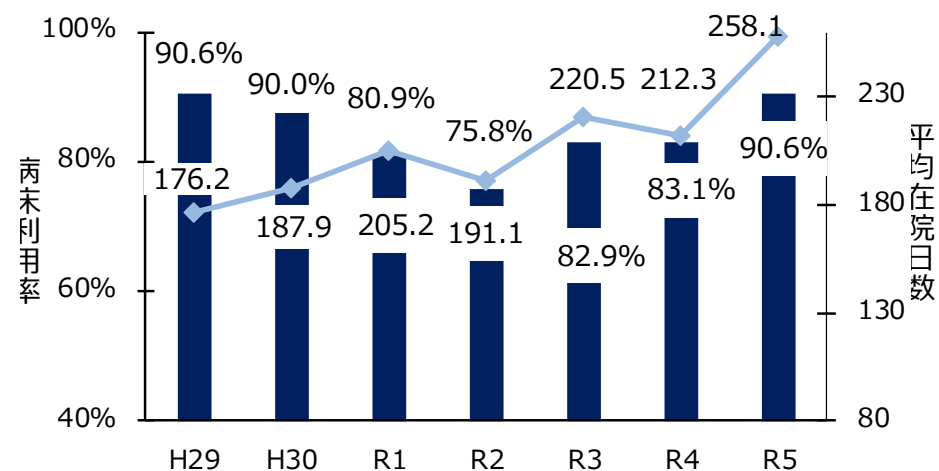
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

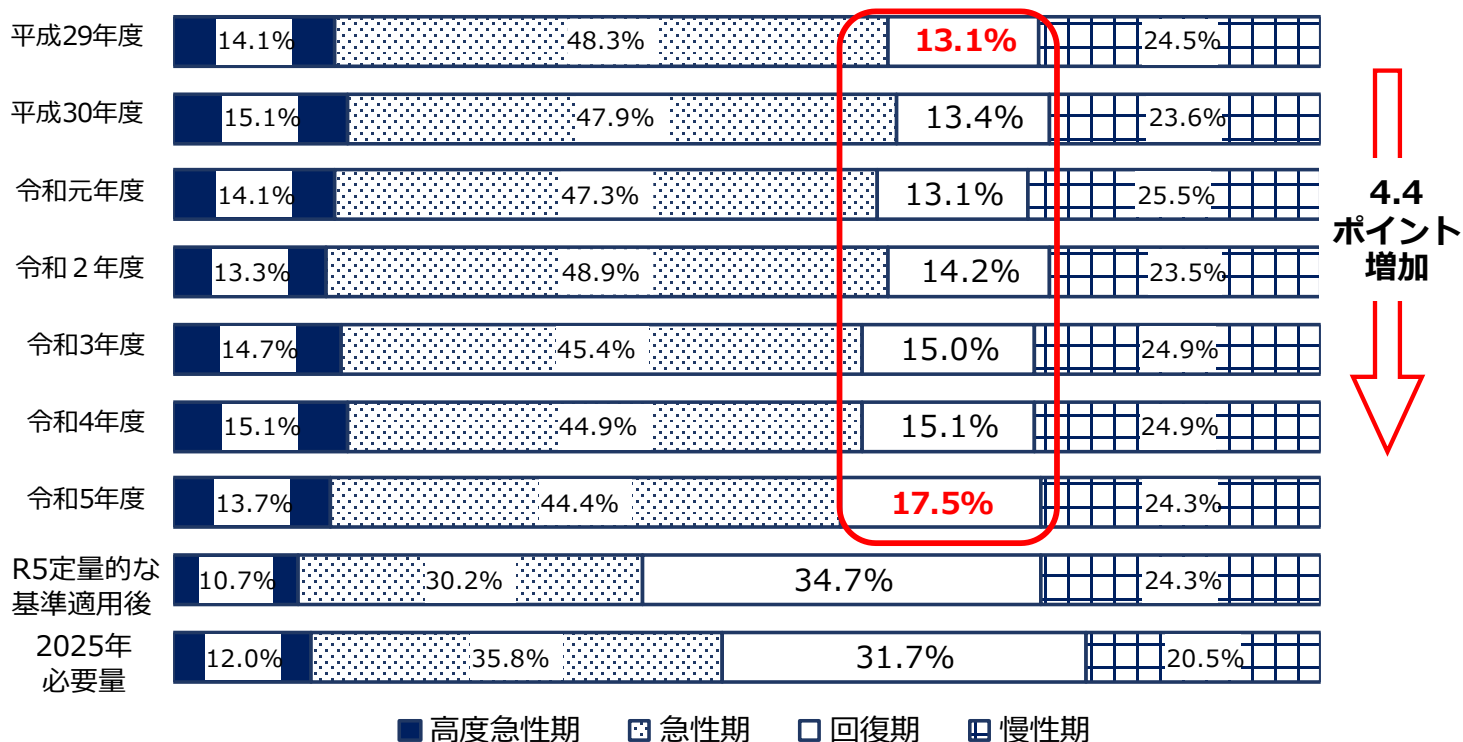
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

【区西北部】機能別病床数の状況①

- ・回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では 4.4ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

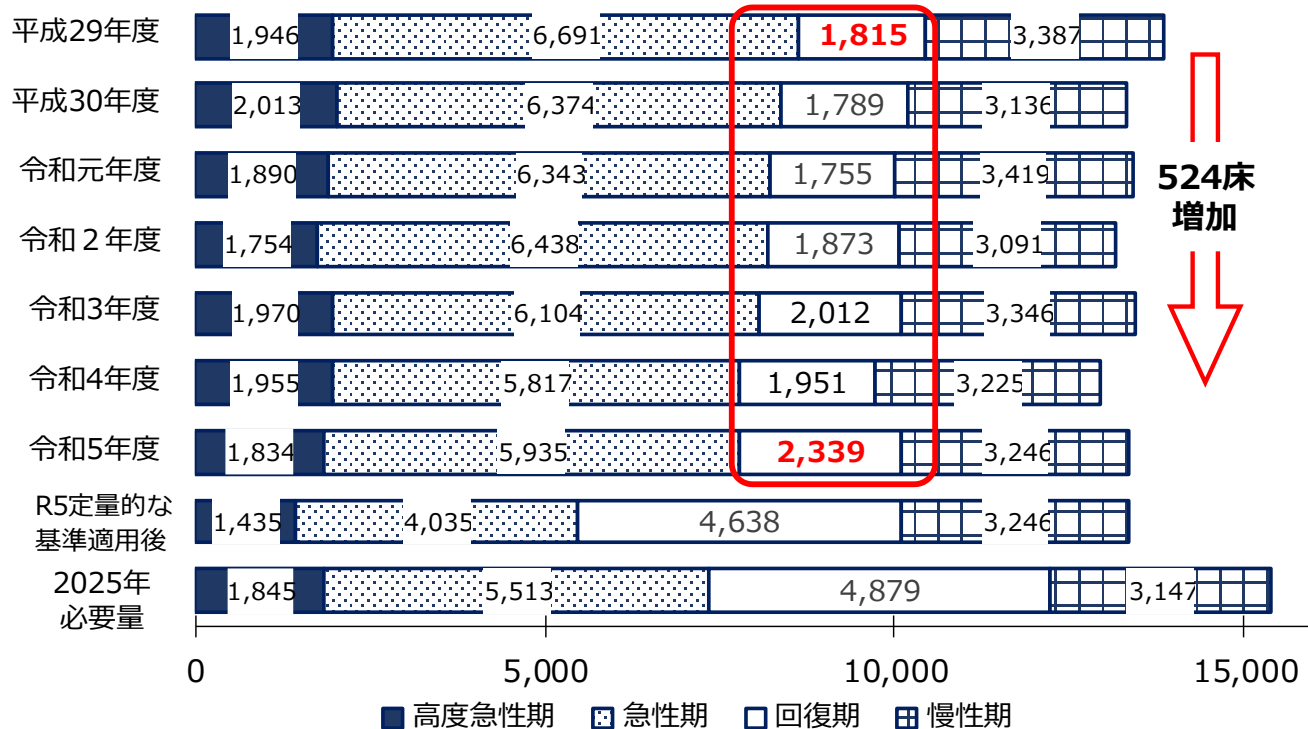


(出所) 病床機能報告より作成

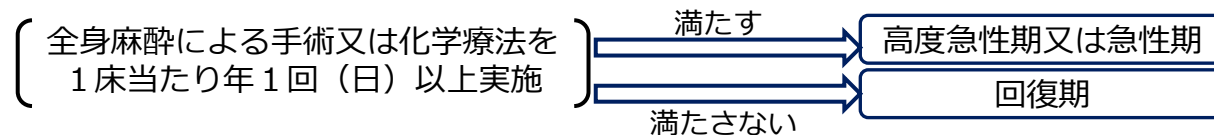
【区西北部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では 524 床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



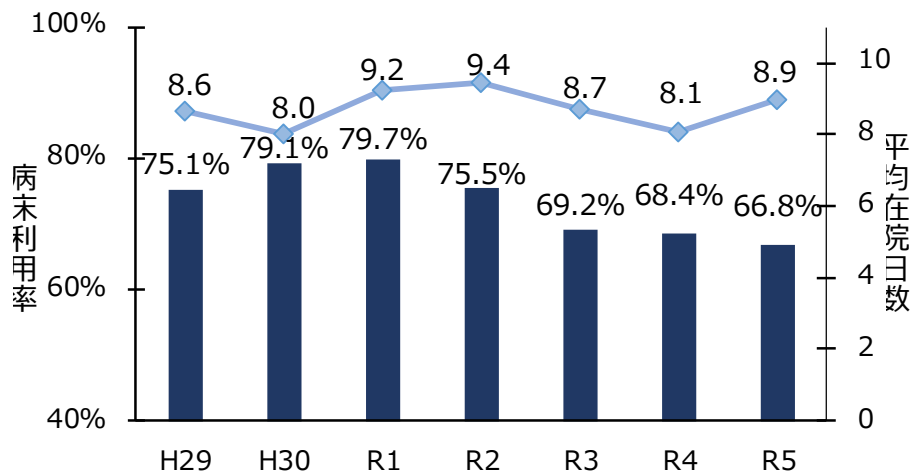
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



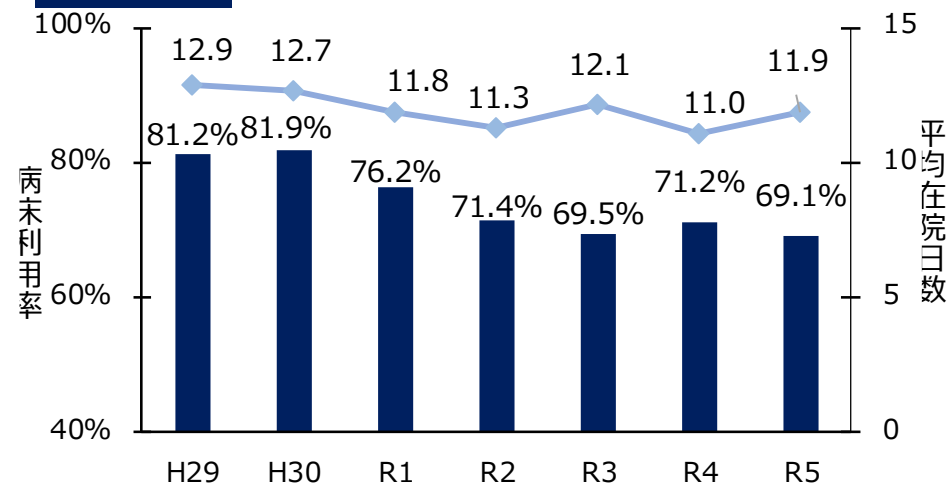
（出所）病床機能報告より作成

【区西北部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

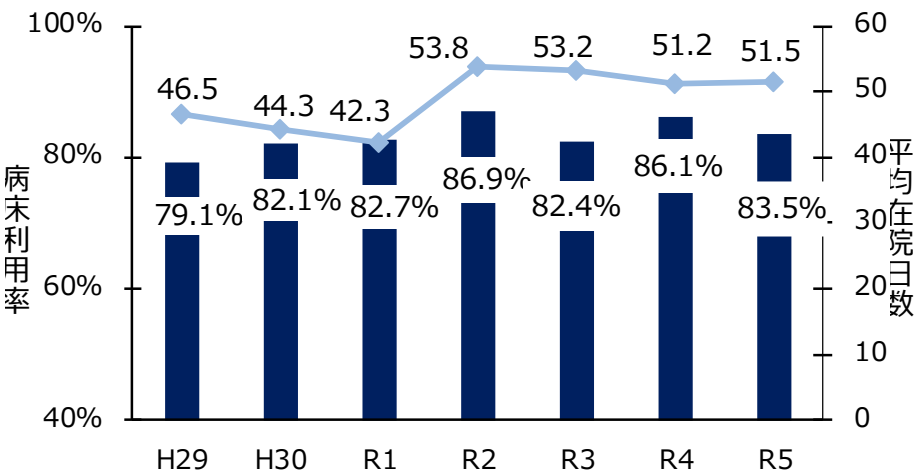
高度急性期



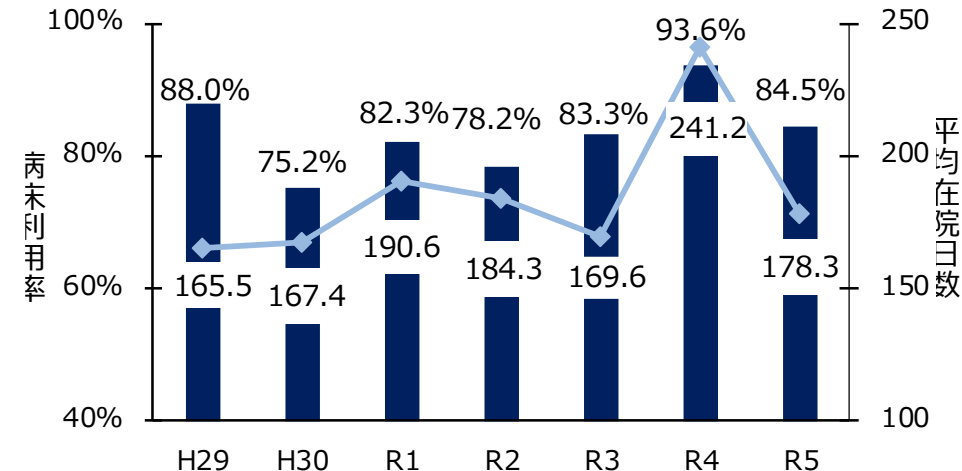
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数 (毎日24時現在の在棟患者数 + 毎日の退院患者数)}}{(\text{許可病床数} \times \text{年間日数})} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数 (毎日24時現在の在棟患者数 + 毎日の退院患者数)}}{(\text{新規入棟患者数} + \text{退棟患者数}) \times 1/2}$

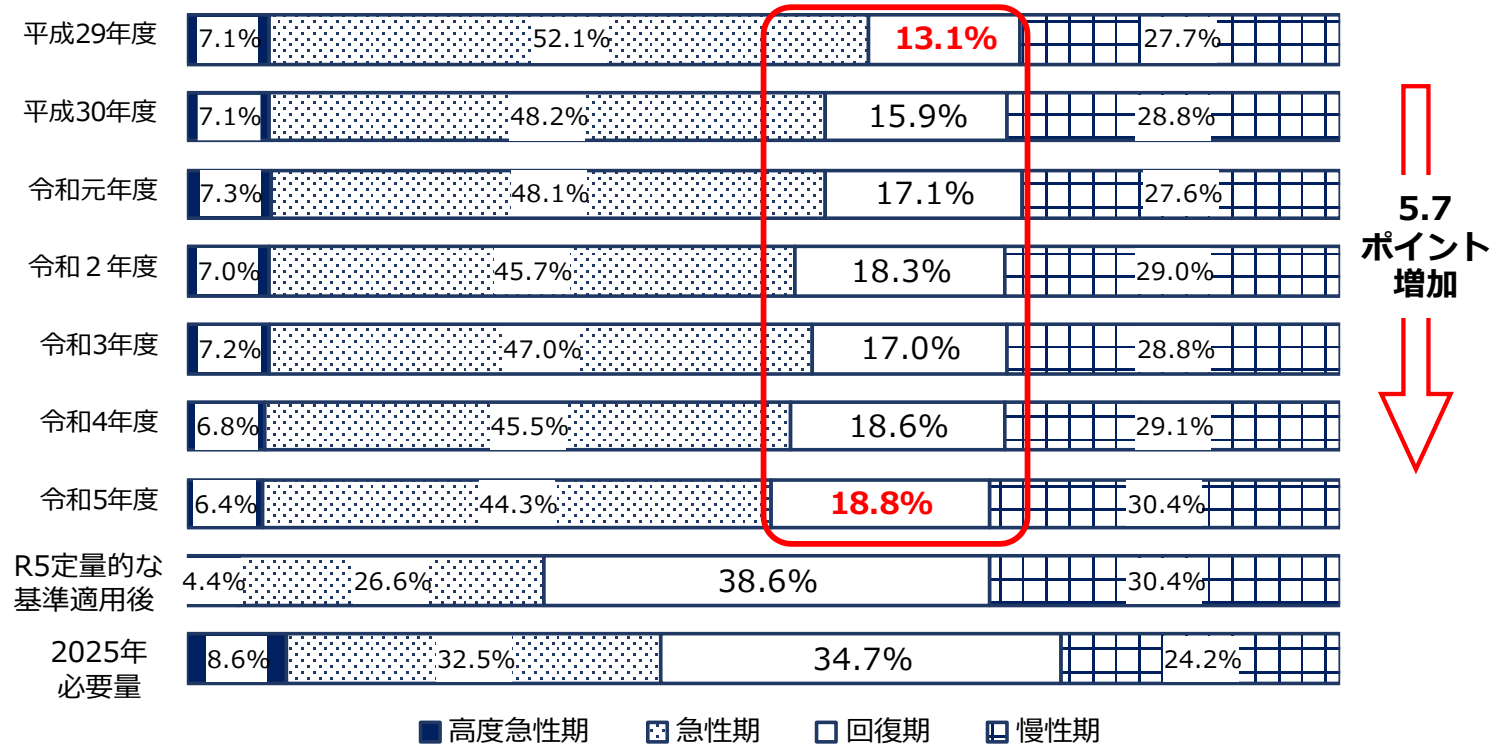
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

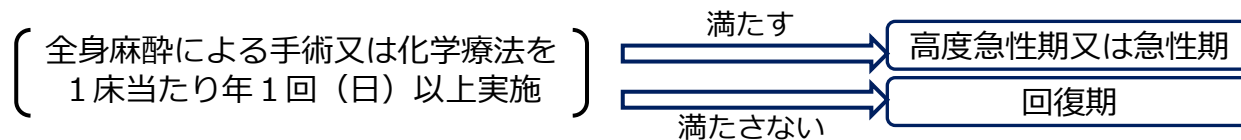
【区東北部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では 5.7 ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

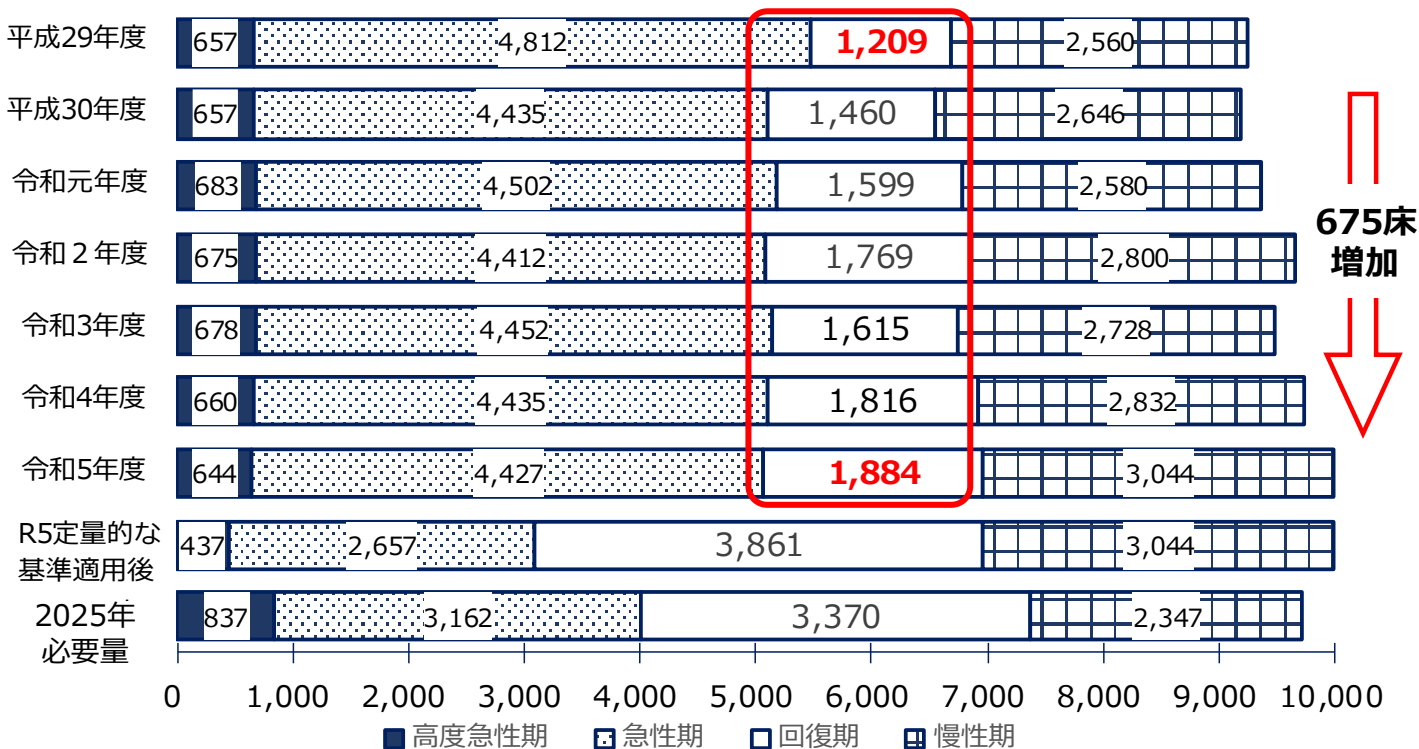


（出所）病床機能報告より作成

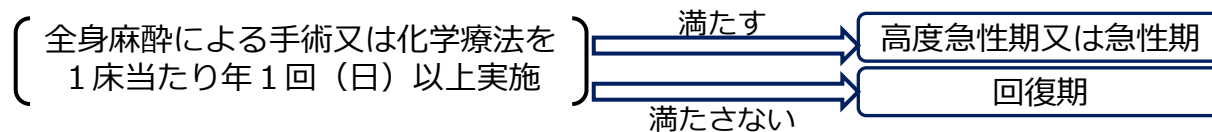
【区東北部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では 675 床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



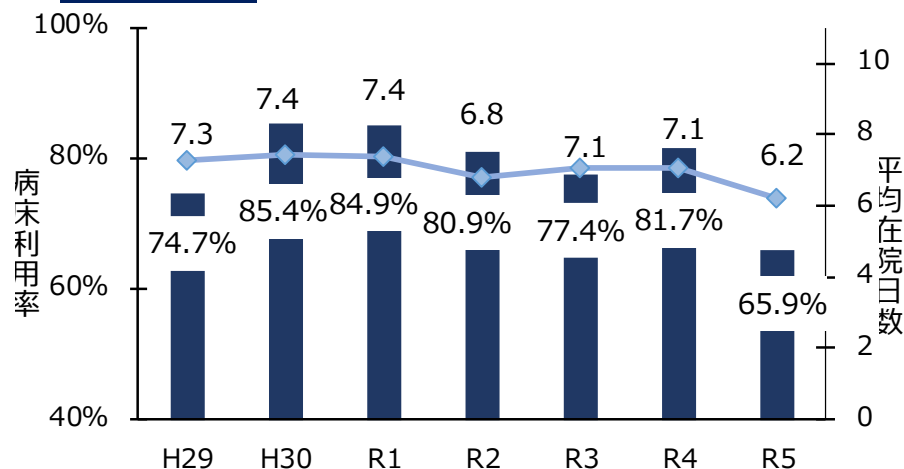
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



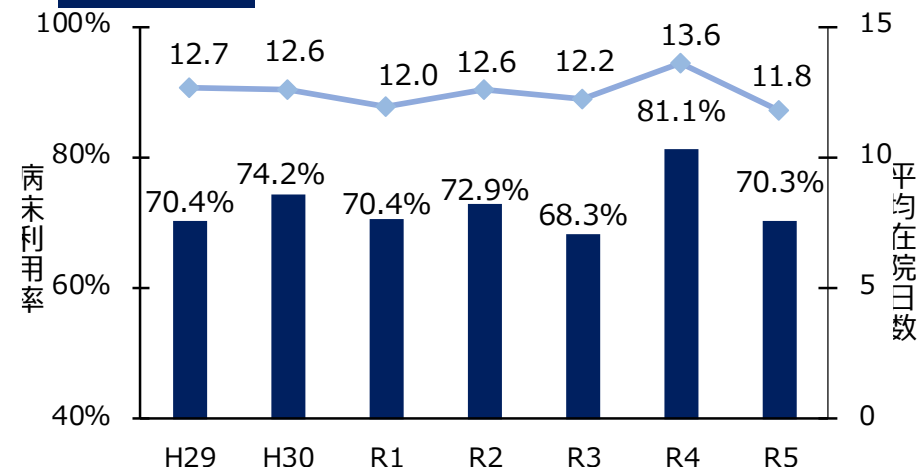
（出所）病床機能報告より作成

【区東北部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

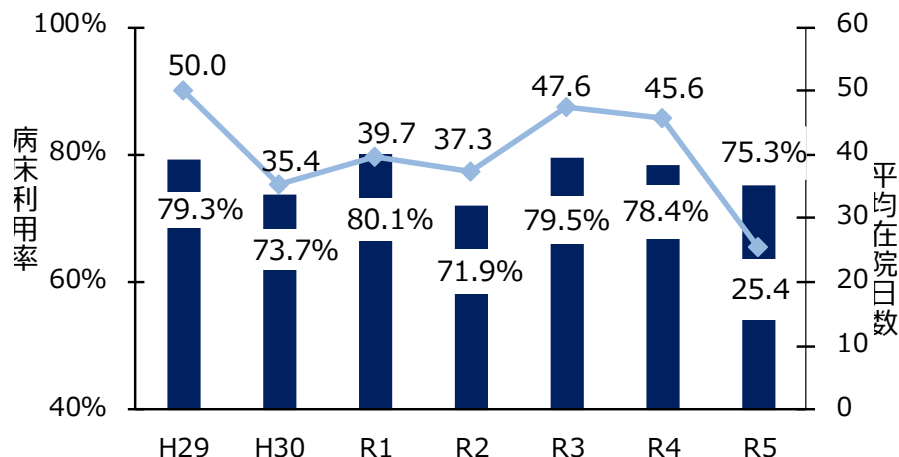
高度急性期



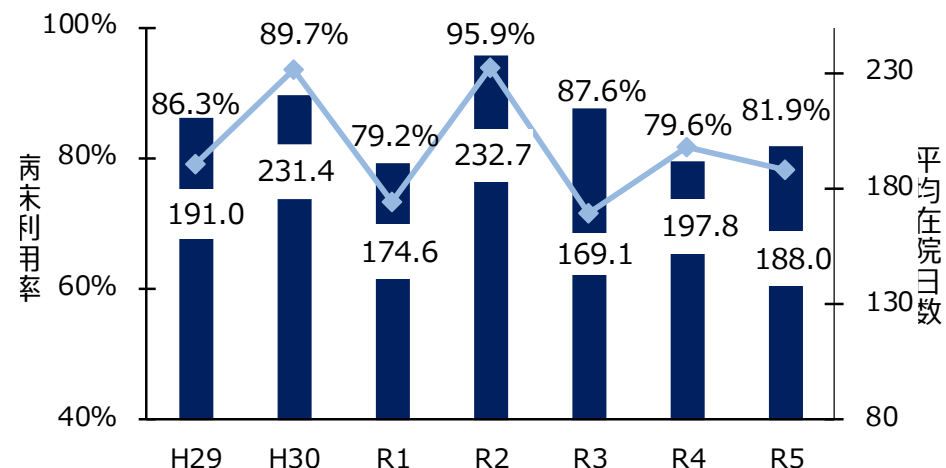
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

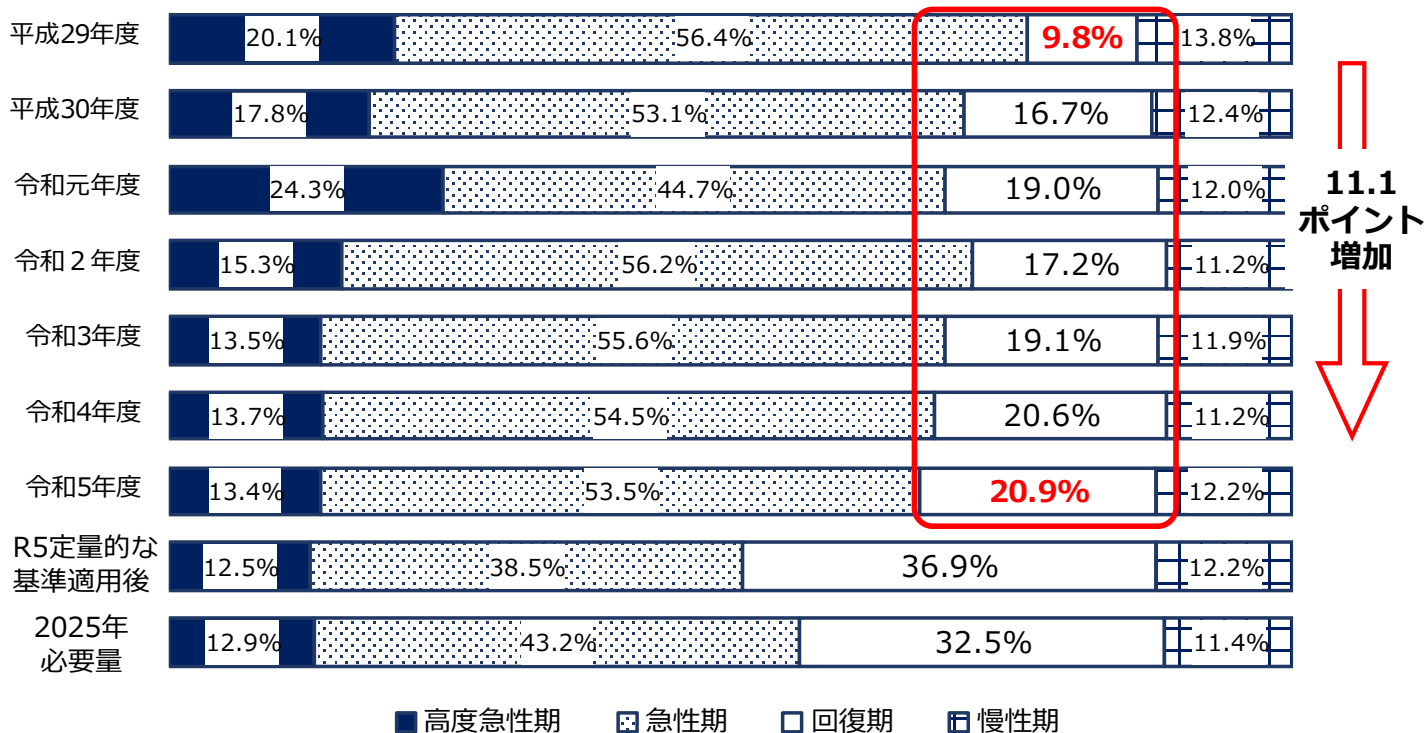
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

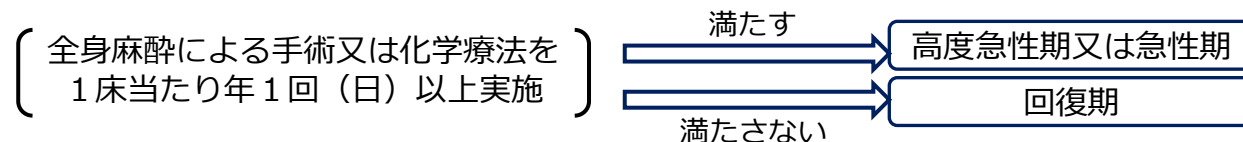
【区東部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では11.1ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

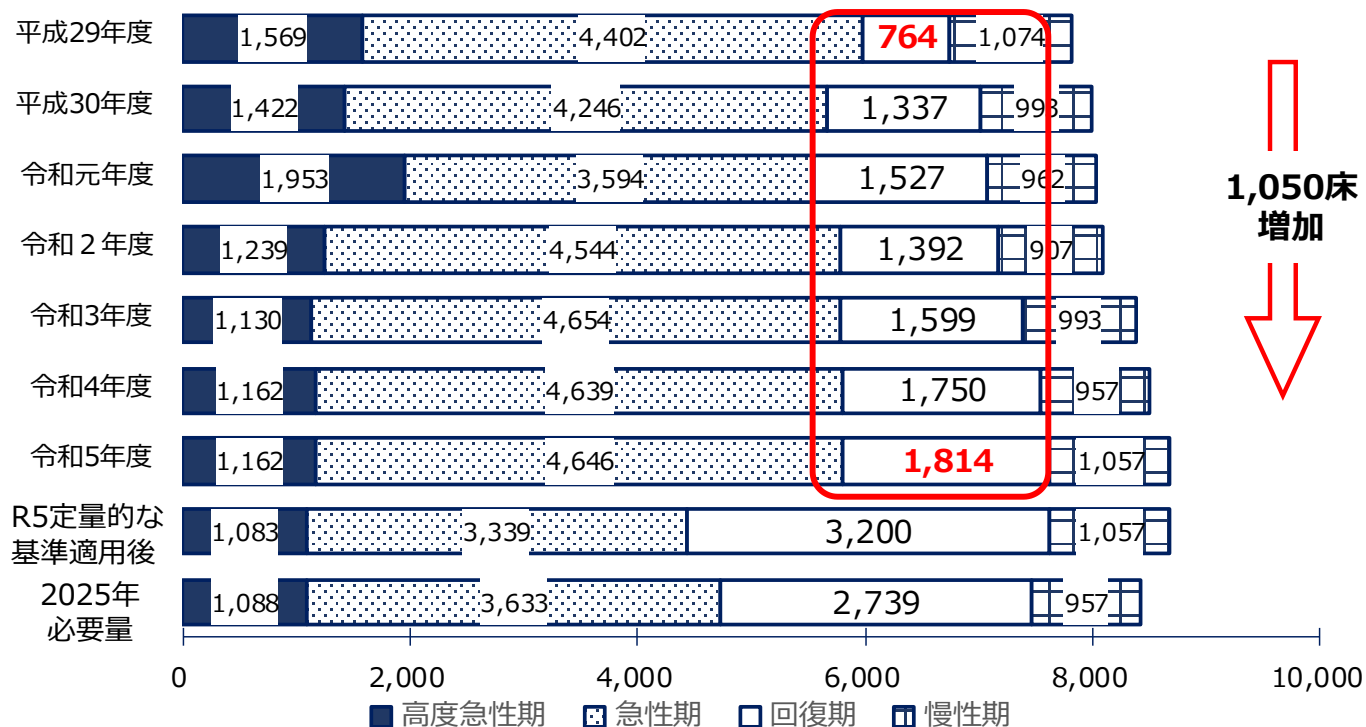


（出所）病床機能報告より作成

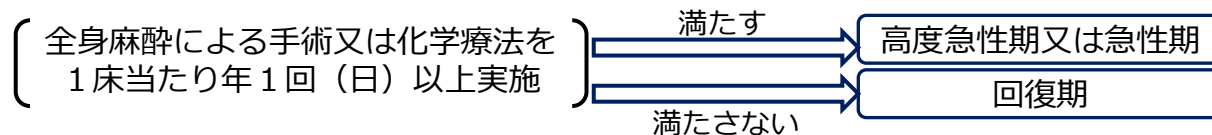
【区東部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では 1,050床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



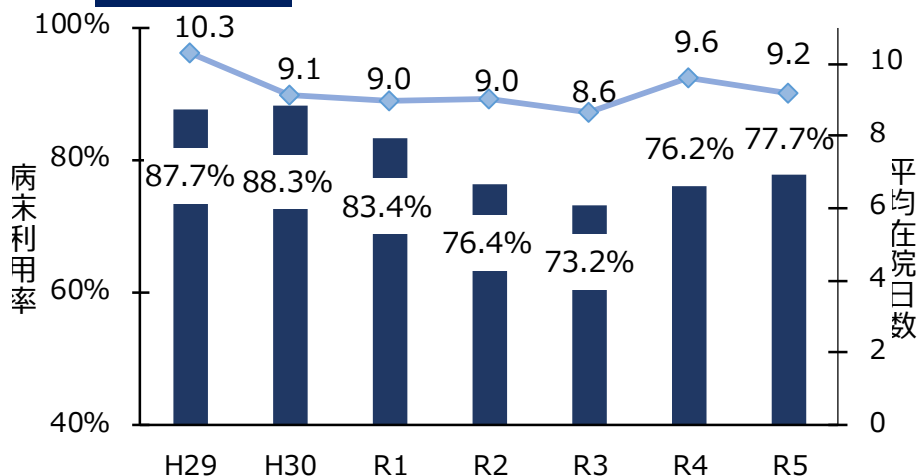
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



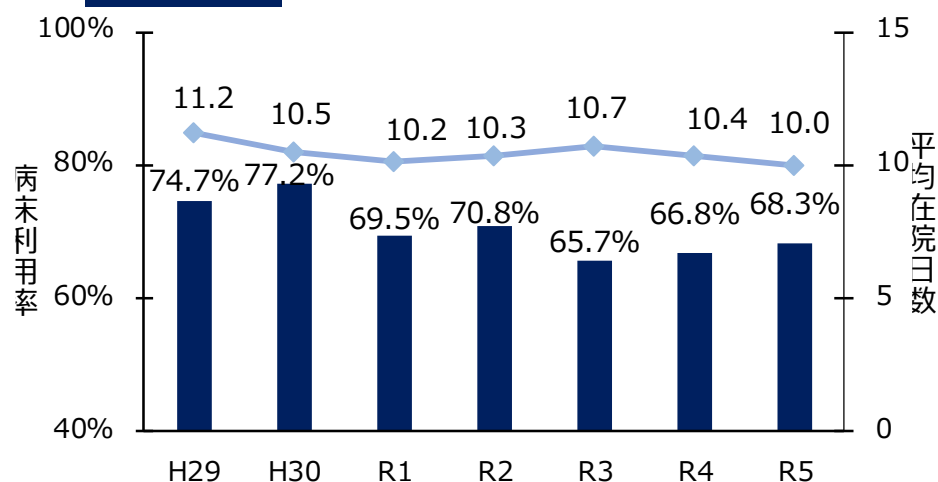
（出所）病床機能報告より作成

【区東部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

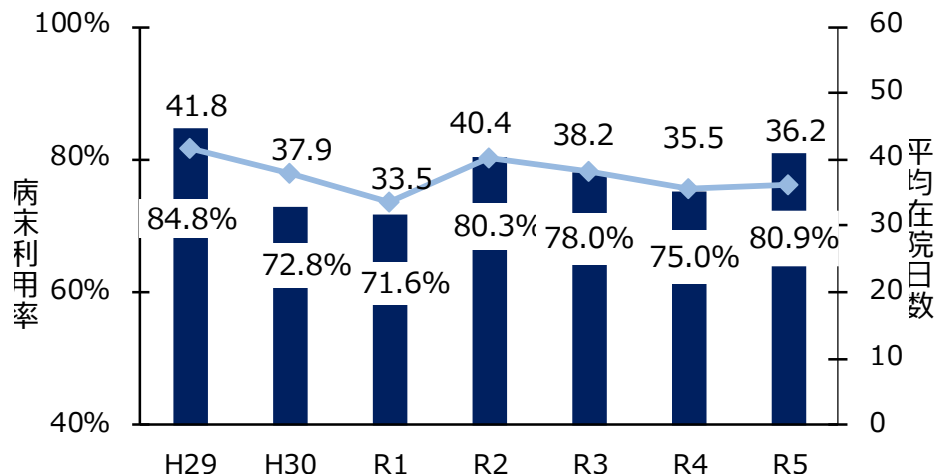
高度急性期



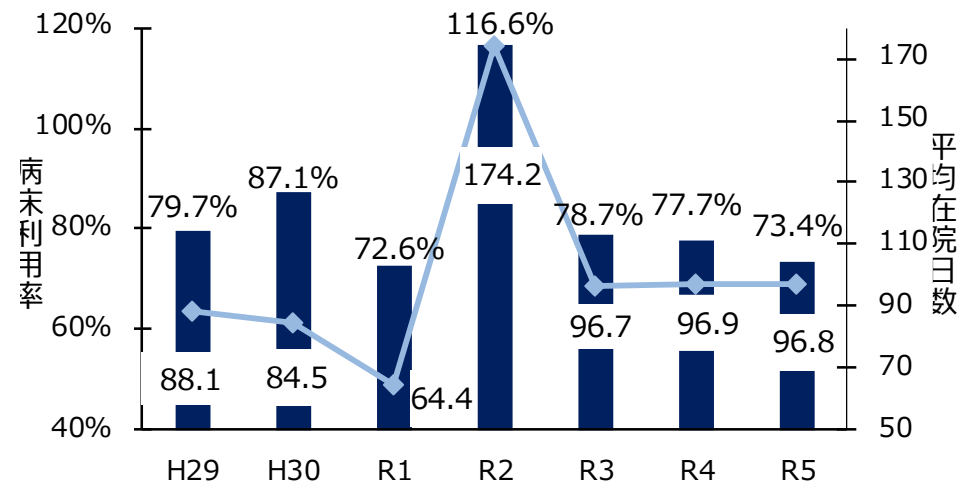
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

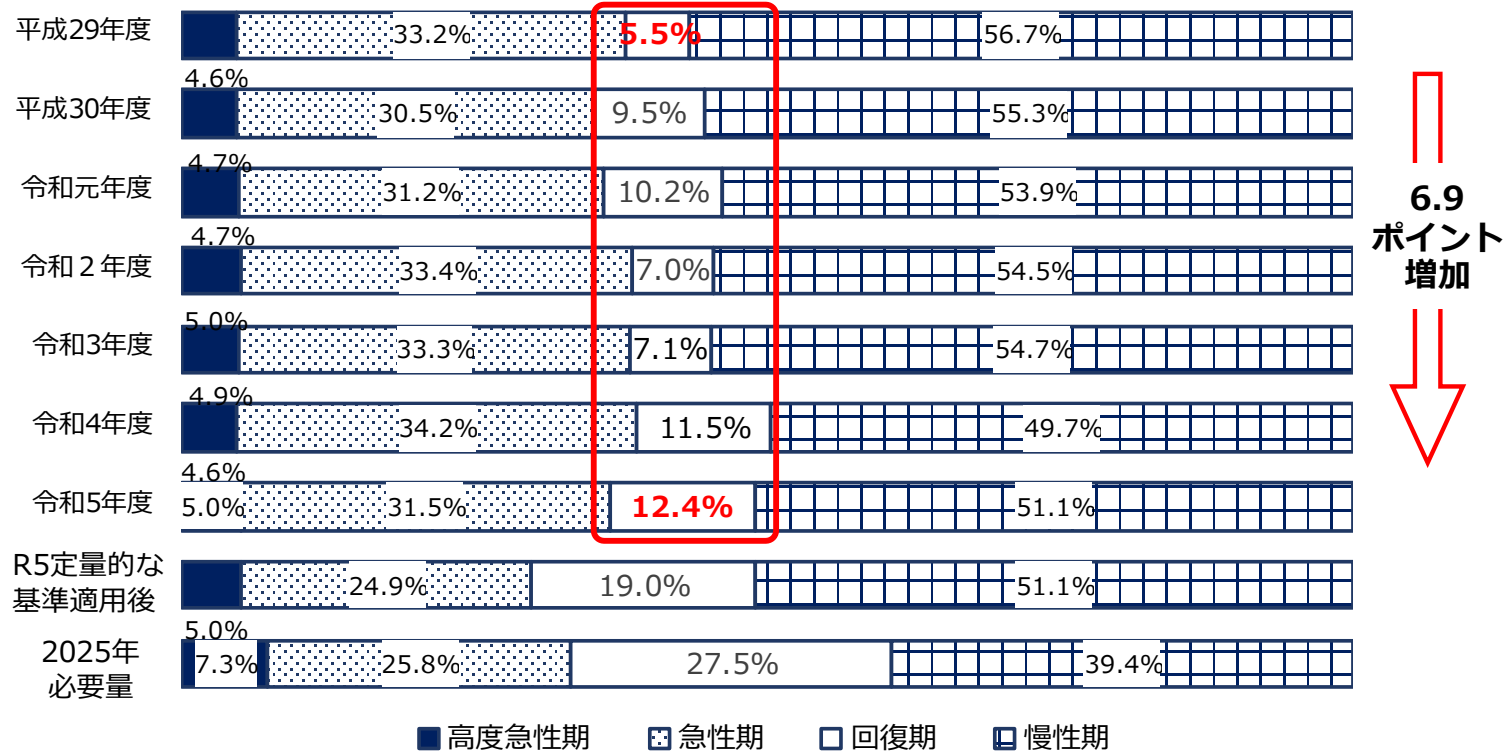
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

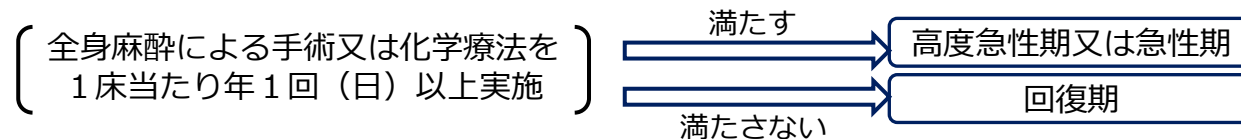
【西多摩】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では 6.9 ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

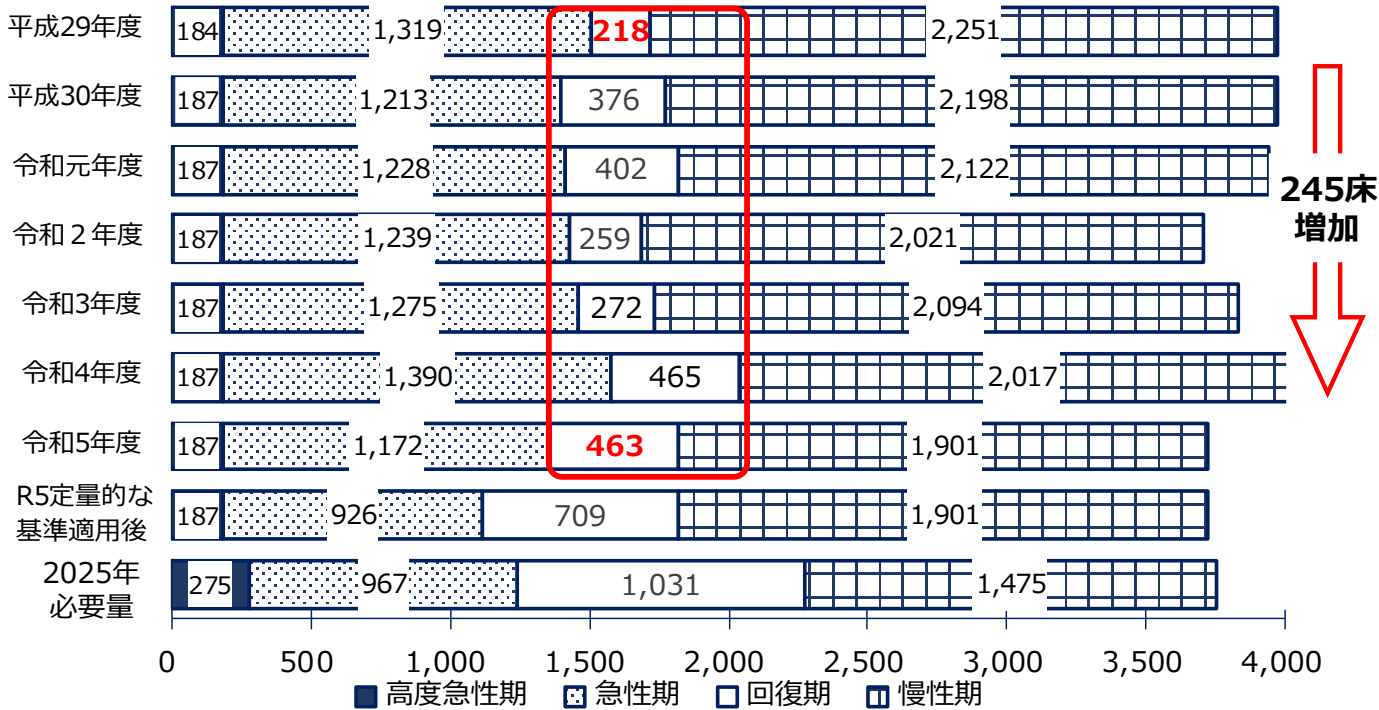


（出所）病床機能報告より作成

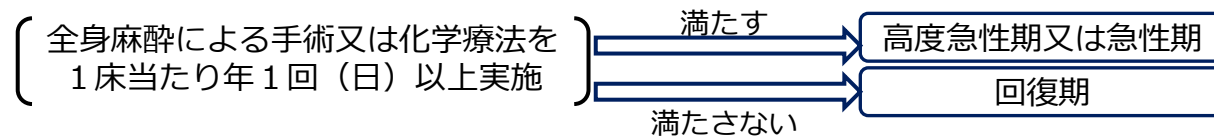
【西多摩】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では 245 床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



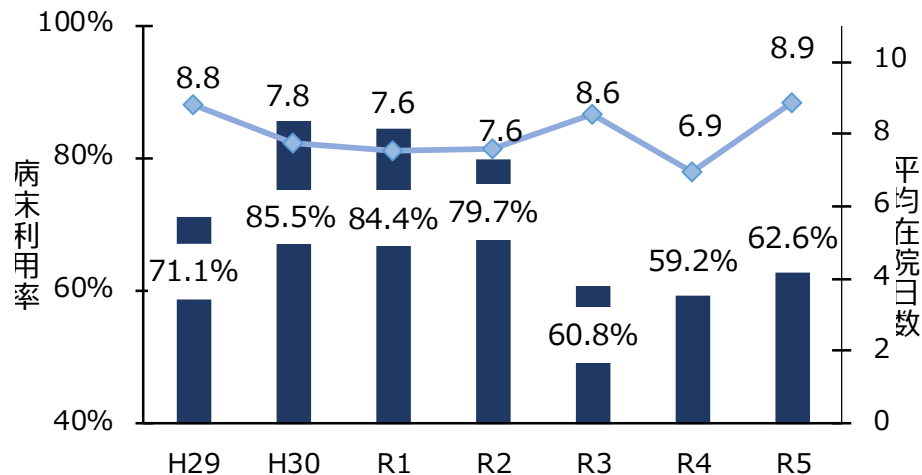
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



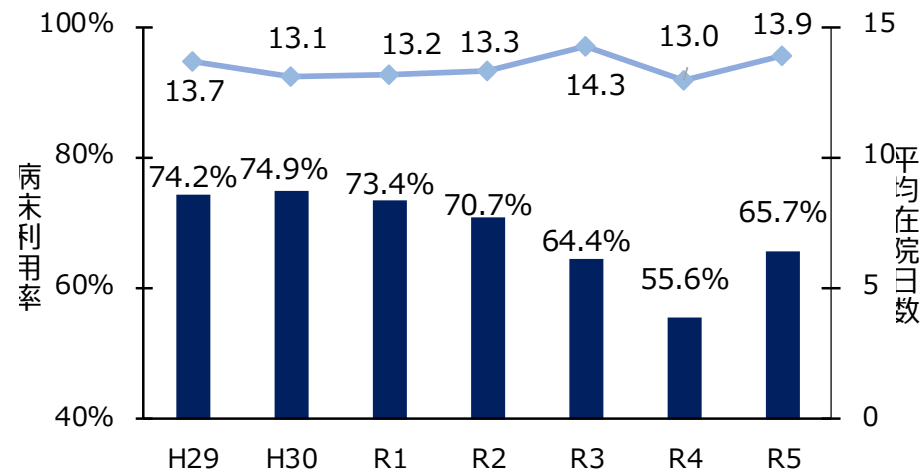
（出所）病床機能報告より作成

【西多摩】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

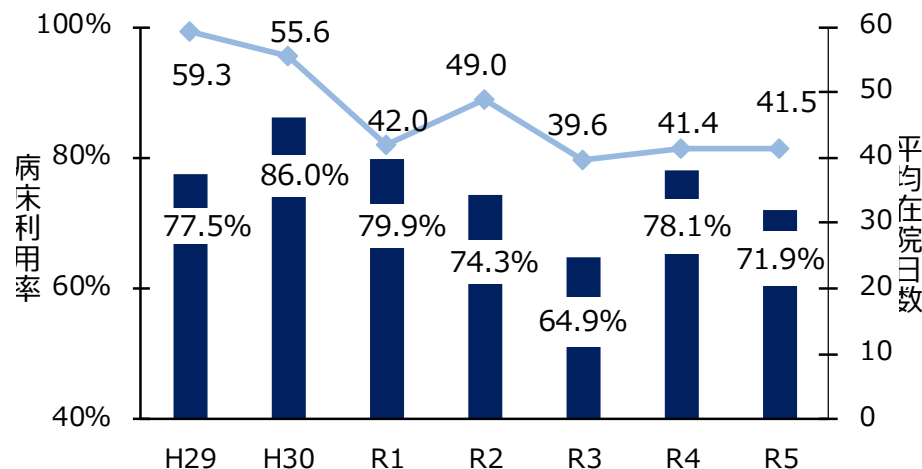
高度急性期



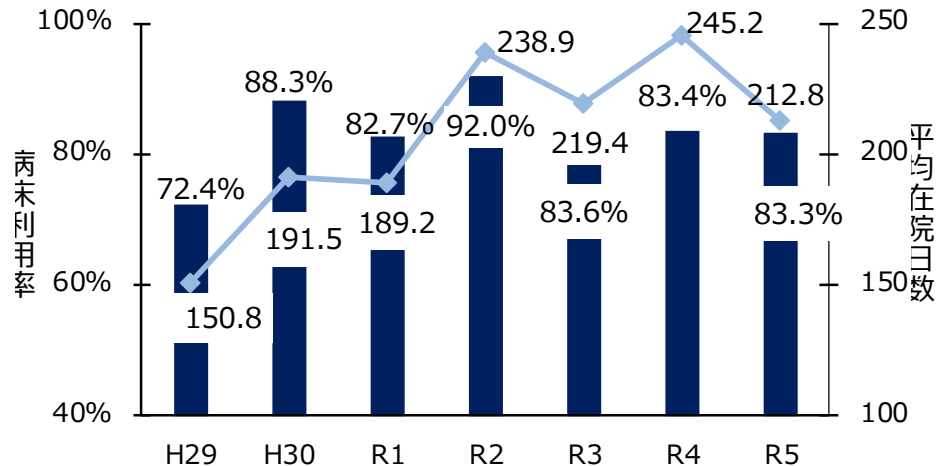
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

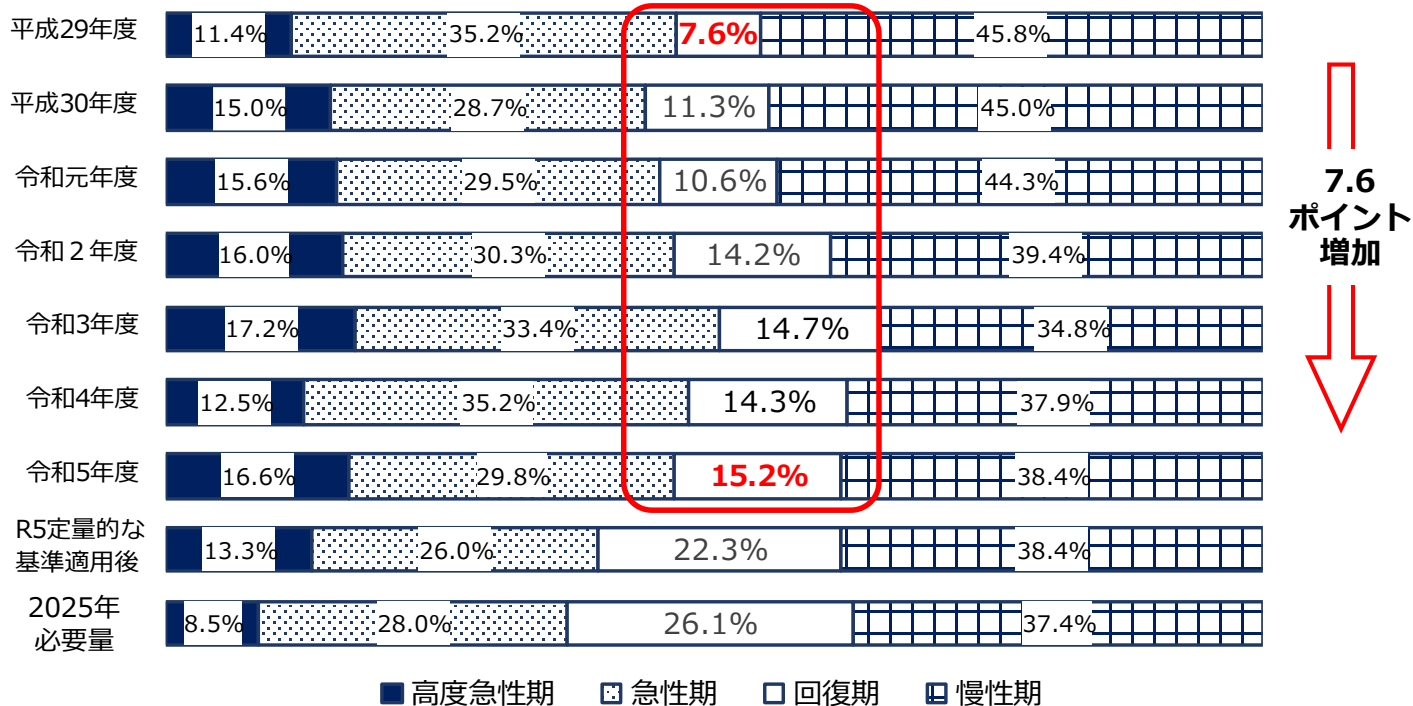
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

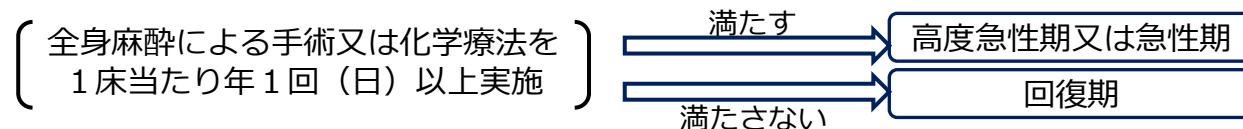
【南多摩】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では 7.6ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

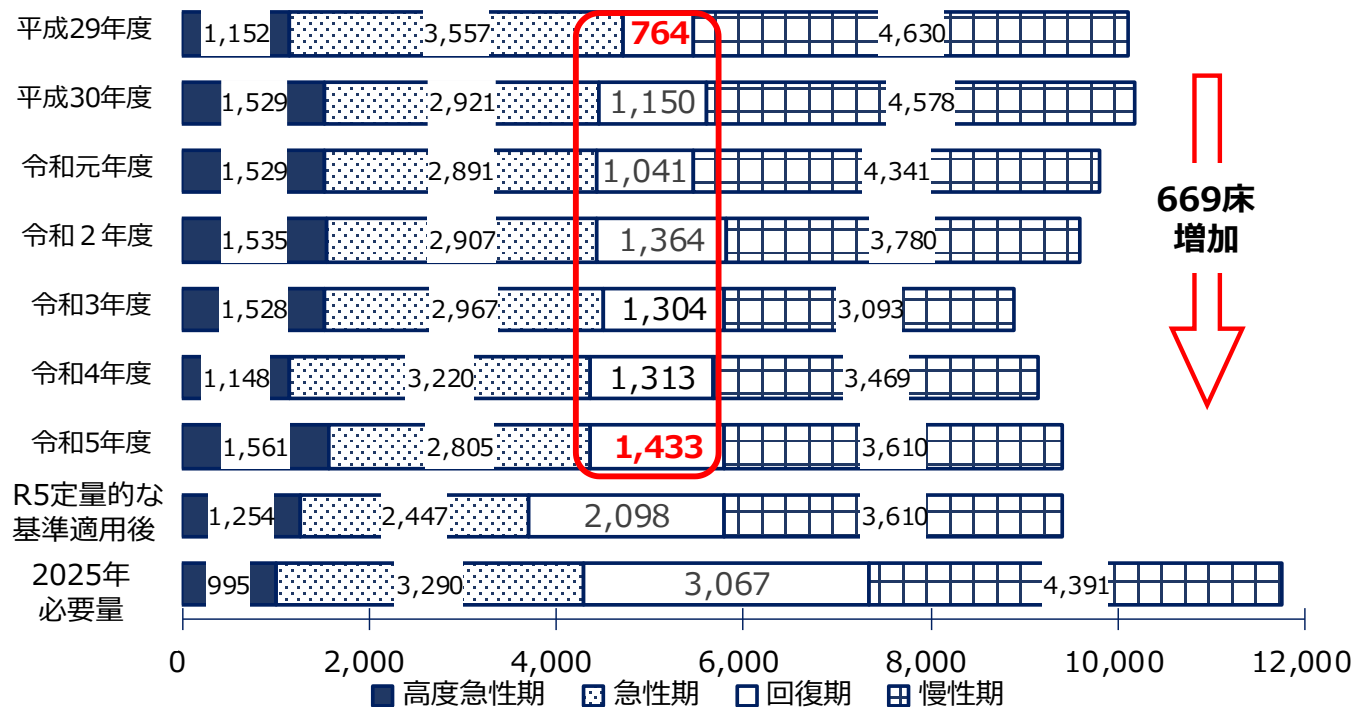


（出所）病床機能報告より作成

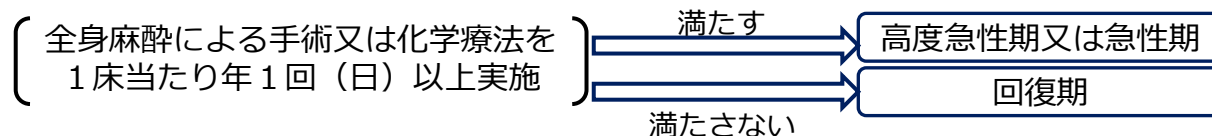
【南多摩】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では 669床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



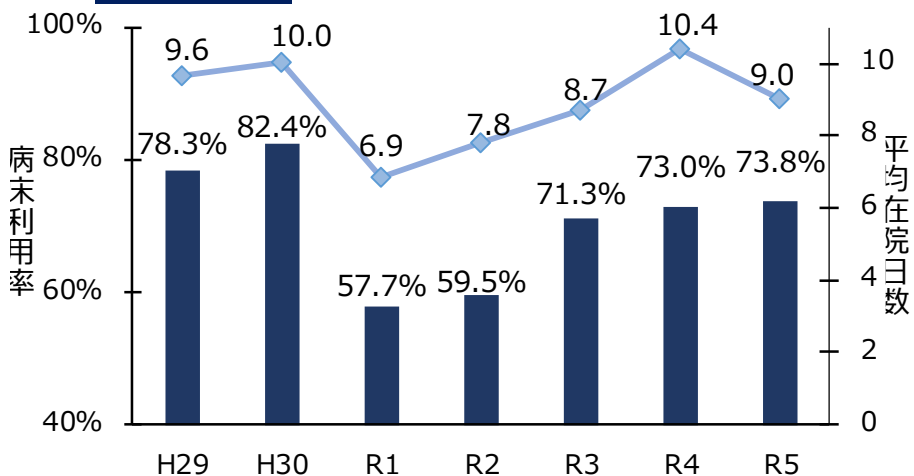
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



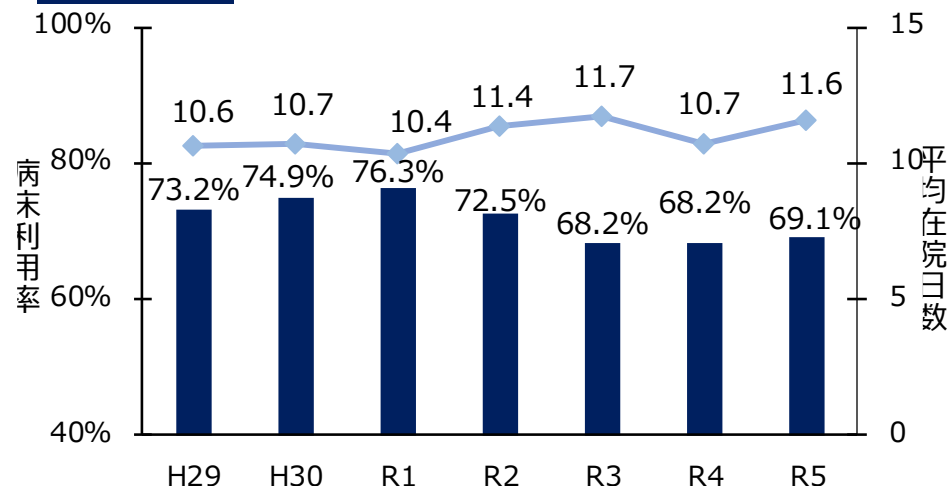
（出所）病床機能報告より作成

【南多摩】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

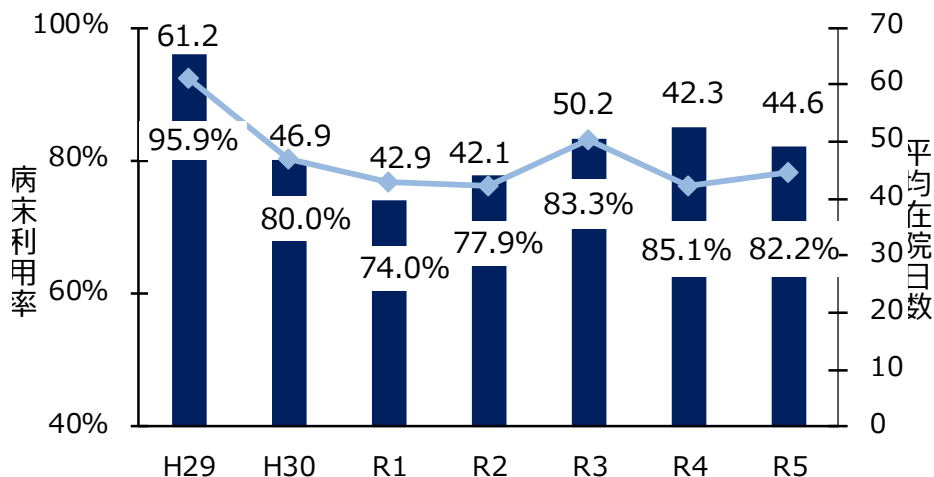
高度急性期



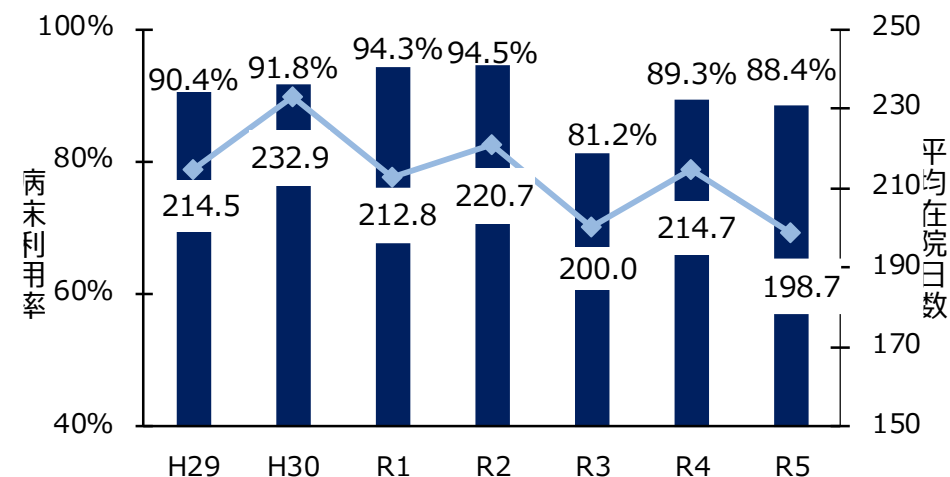
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数 (毎日24時現在の在棟患者数 + 毎日の退院患者数)}}{(\text{許可病床数} \times \text{年間日数})} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数 (毎日24時現在の在棟患者数 + 毎日の退院患者数)}}{(\text{新規入棟患者数} + \text{退棟患者数}) \times 1/2}$

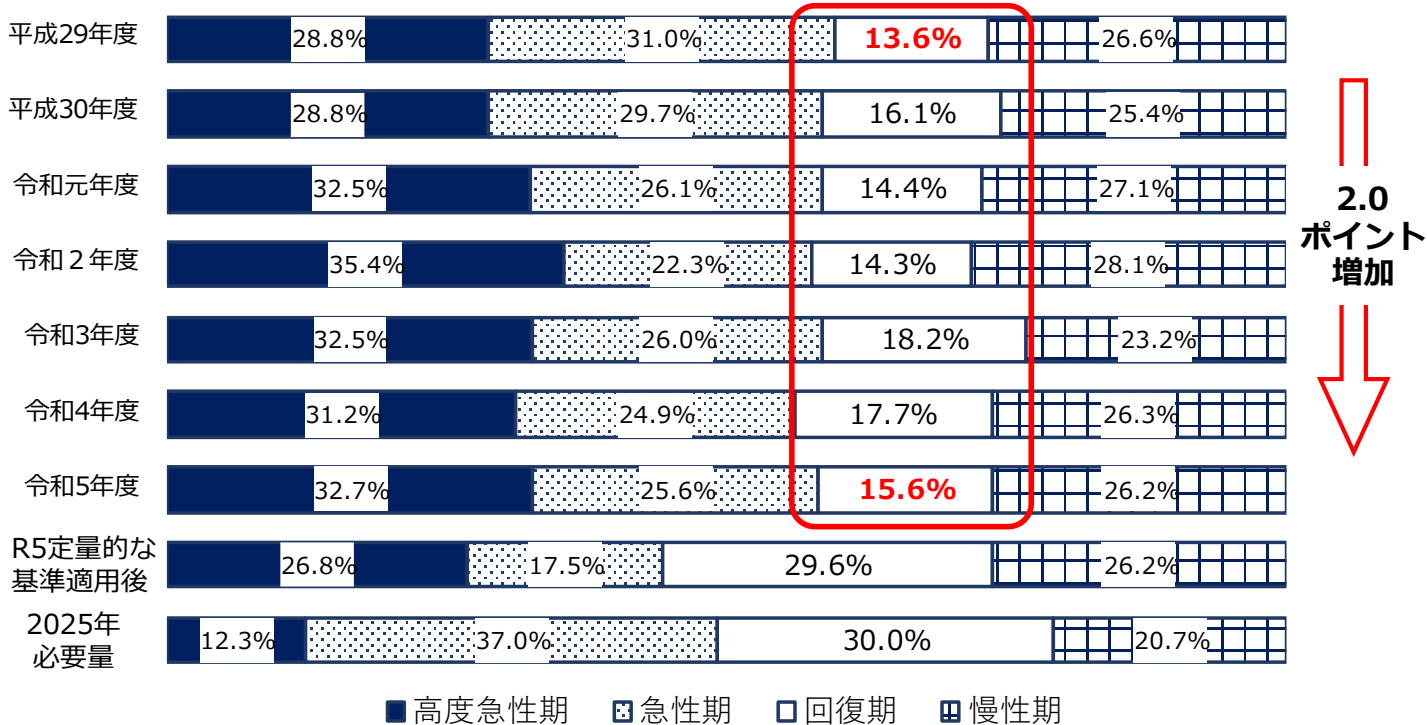
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

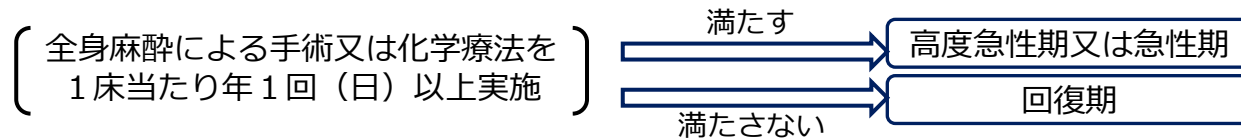
【北多摩西部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では 2.0ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

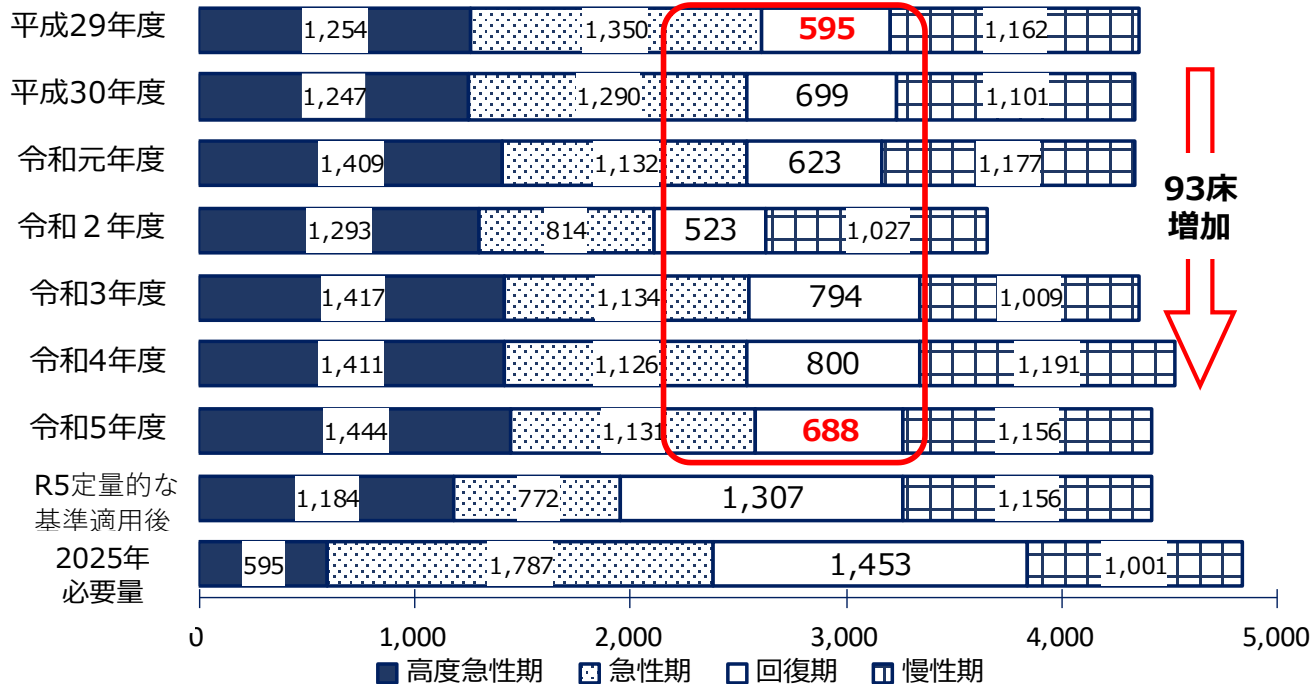


（出所）病床機能報告より作成

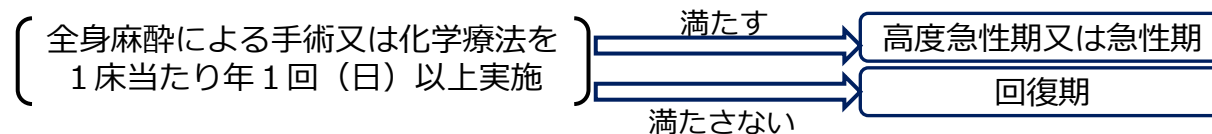
【北多摩西部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では 93床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



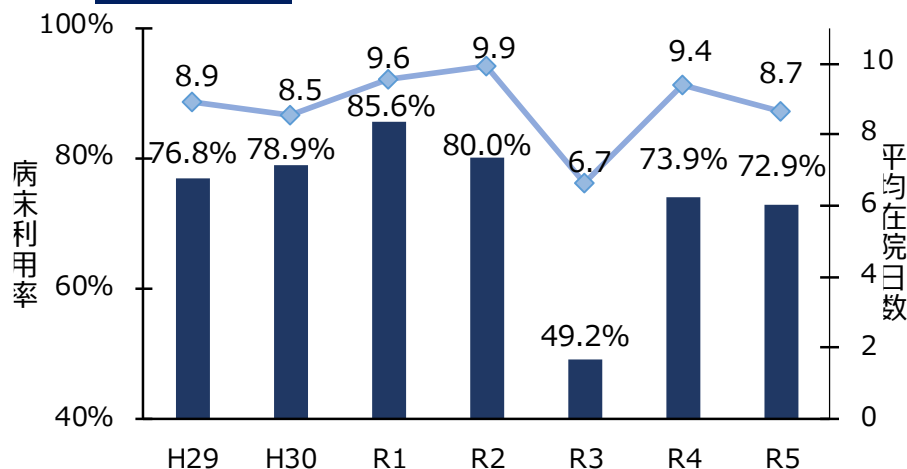
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



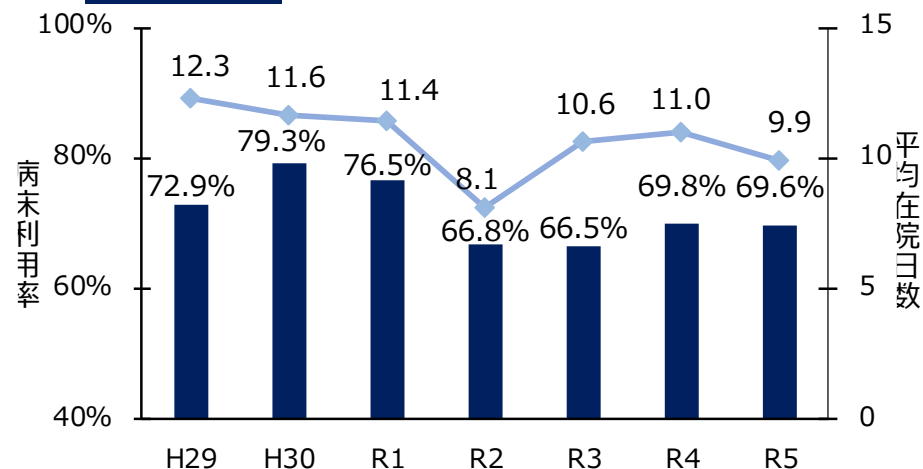
（出所）病床機能報告より作成

【北多摩西部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

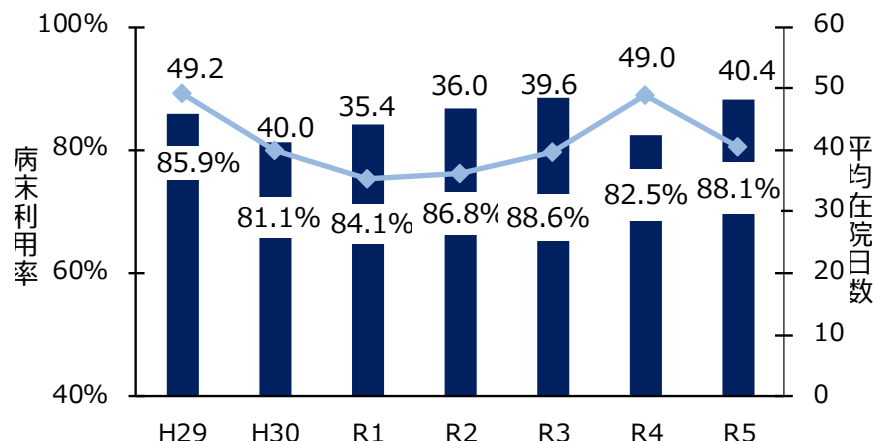
高度急性期



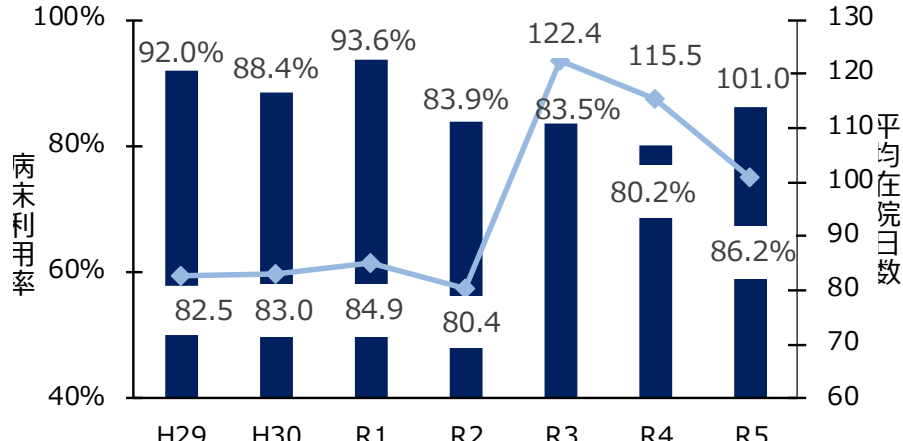
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数 (毎日24時現在の在棟患者数 + 毎日の退院患者数)}}{(\text{許可病床数} \times \text{年間日数})} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数 (毎日24時現在の在棟患者数 + 毎日の退院患者数)}}{(\text{新規入棟患者数} + \text{退棟患者数}) \times 1/2}$

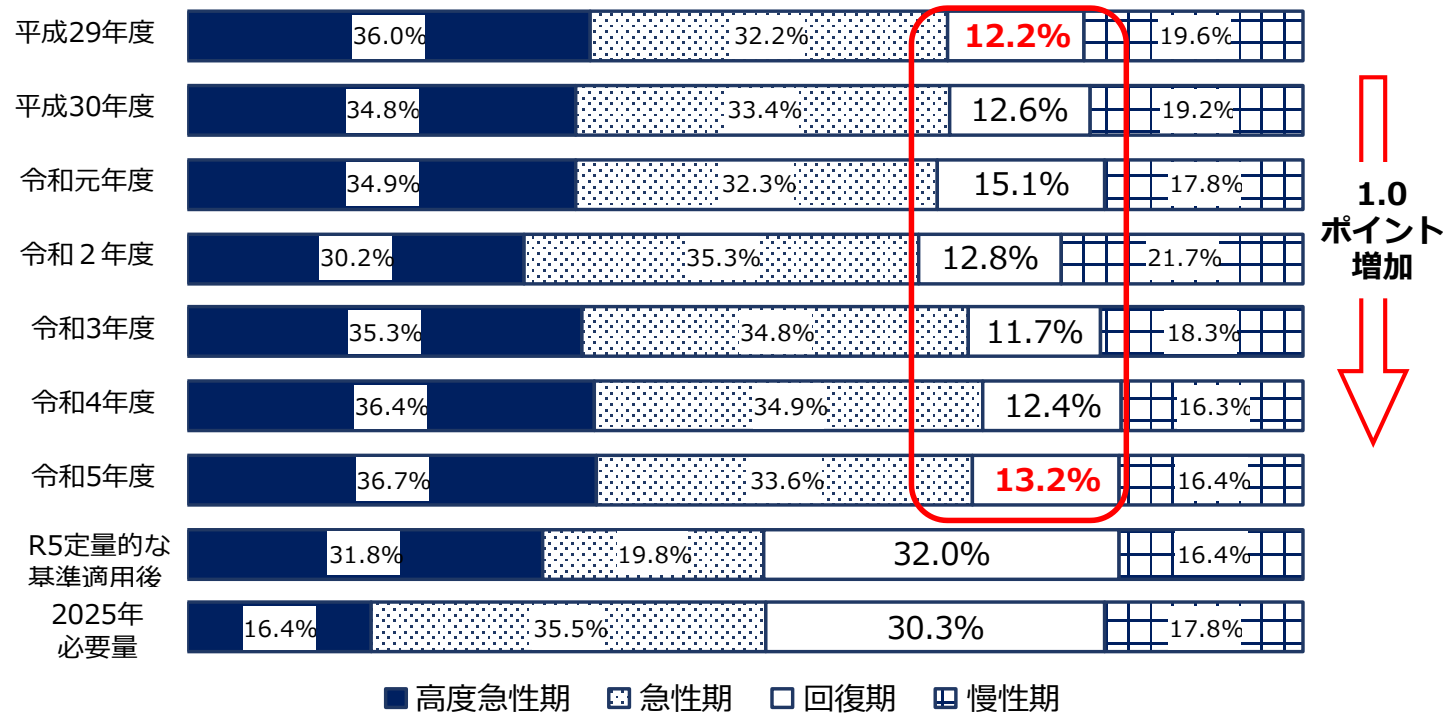
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

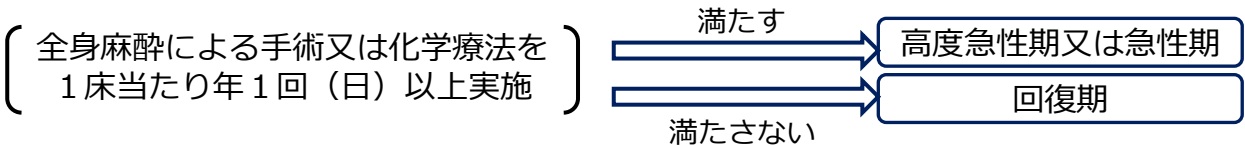
【北多摩南部】機能別病床数の状況①

・回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度まで、ほぼ横ばい～微増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

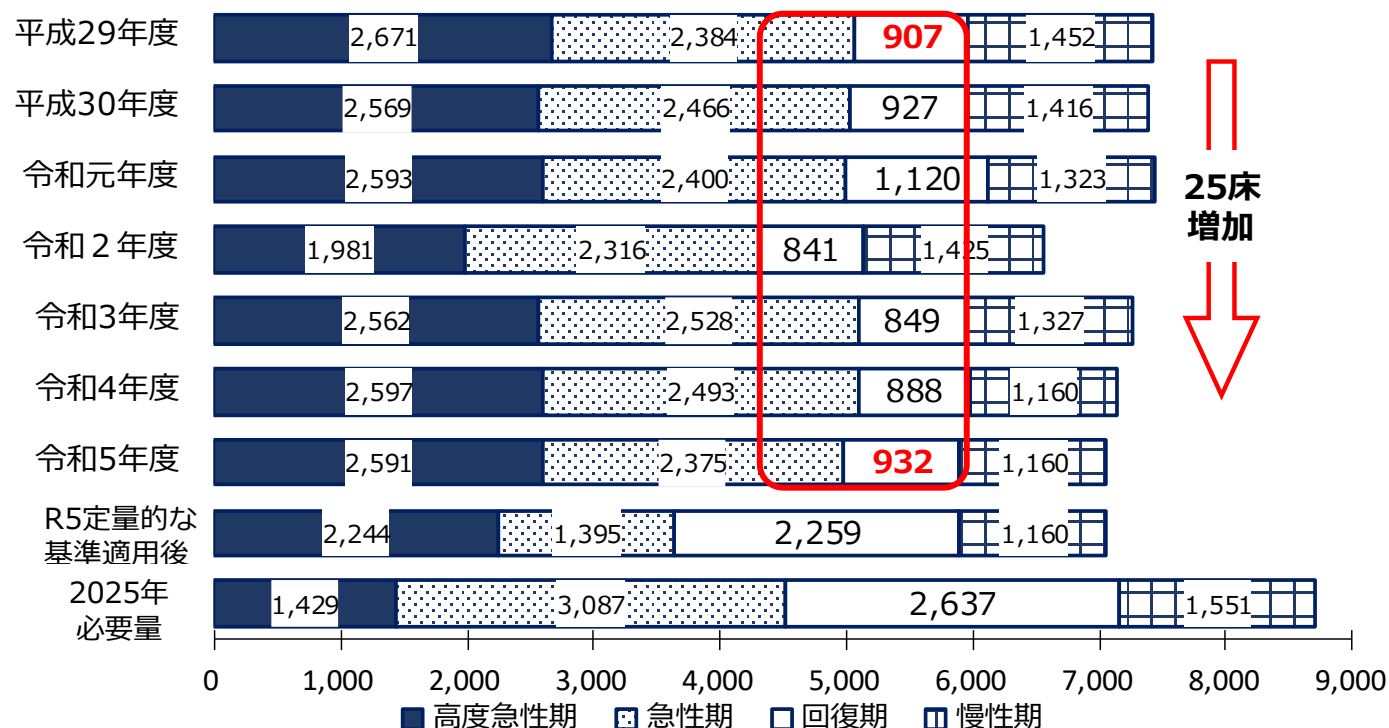


（出所）病床機能報告より作成

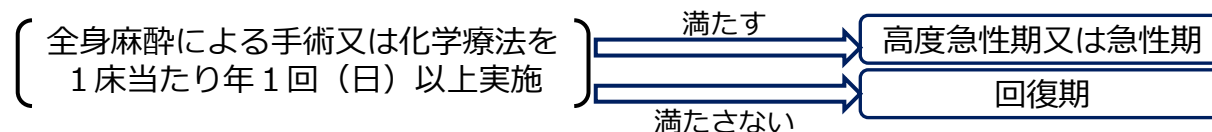
【北多摩南部】機能別病床数の状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度まで、横ばい～微減で推移

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



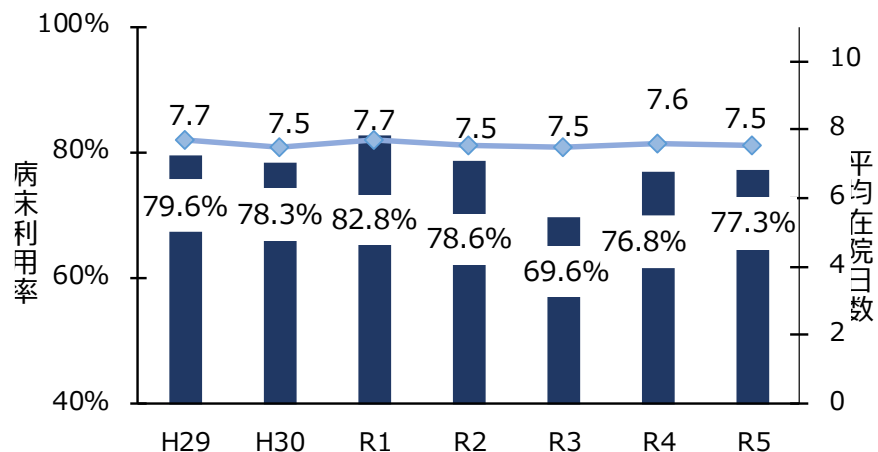
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



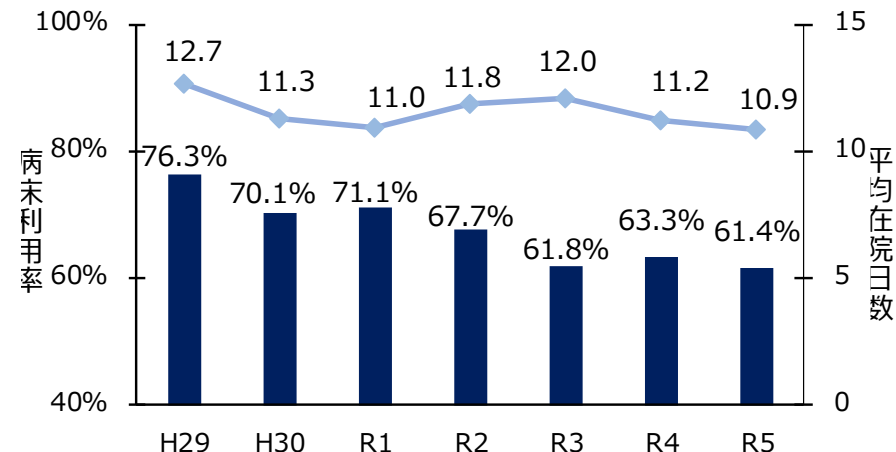
（出所）病床機能報告より作成

【北多摩南部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

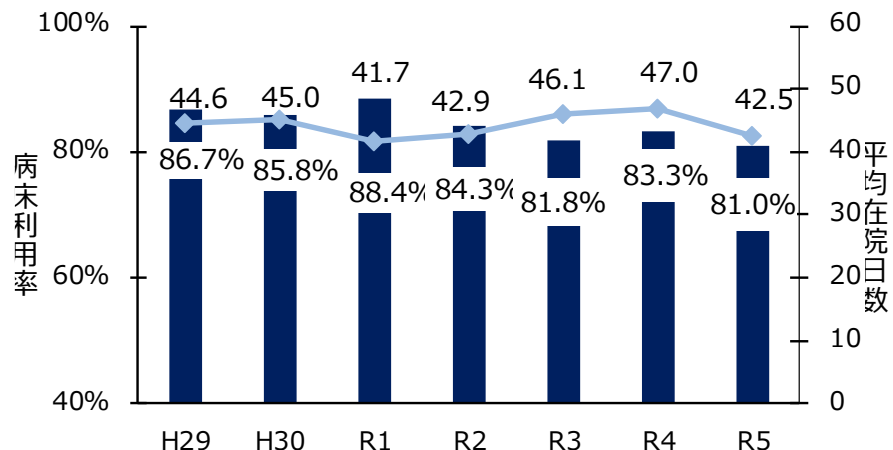
高度急性期



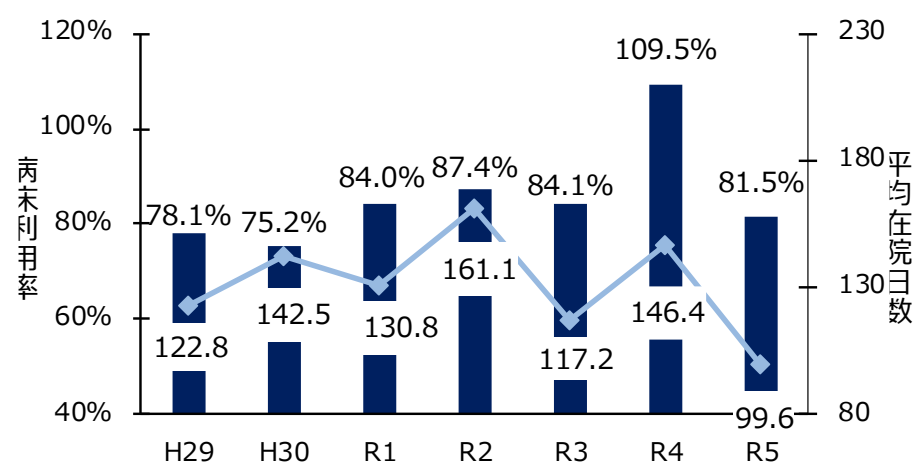
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

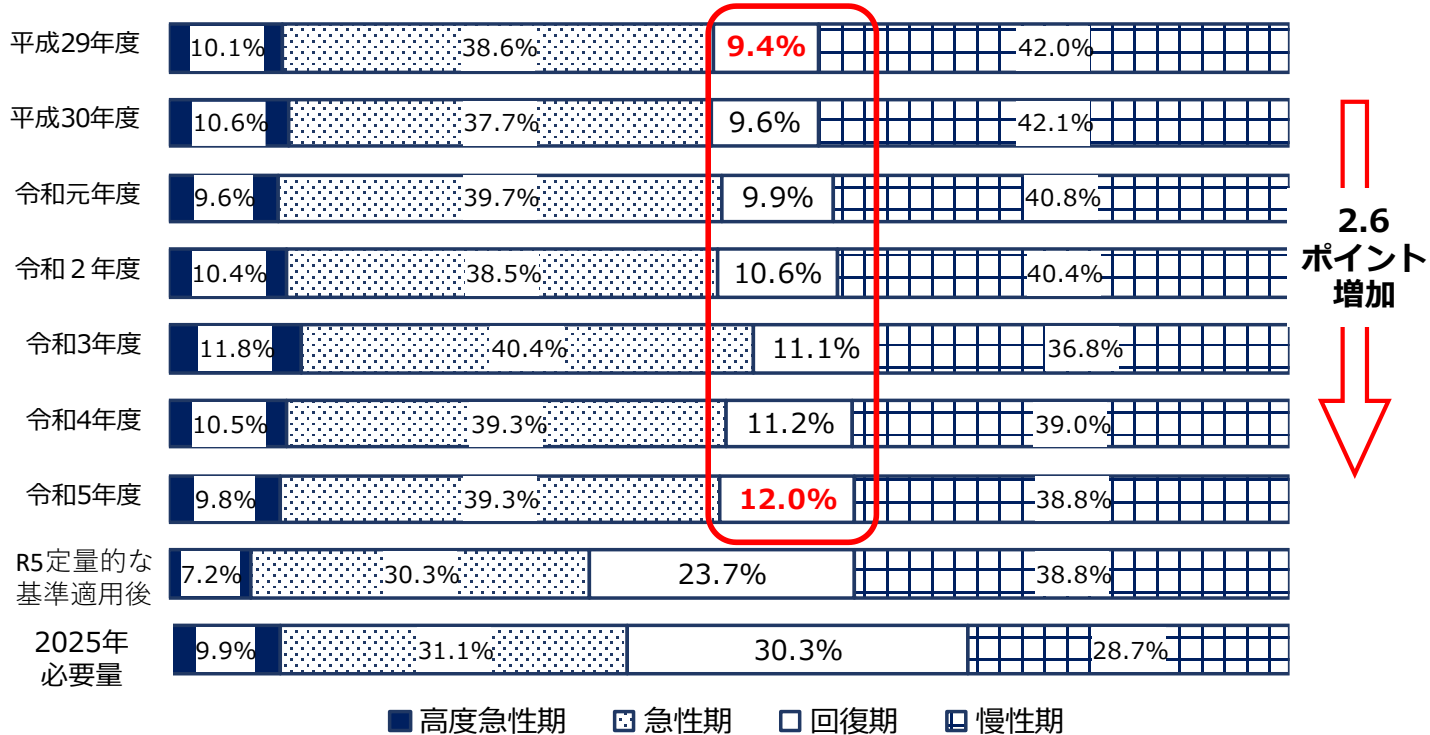
■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

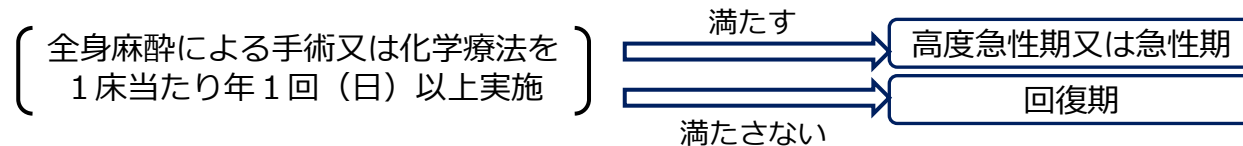
【北多摩北部】機能別病床数の状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和5年度では 2.6 ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

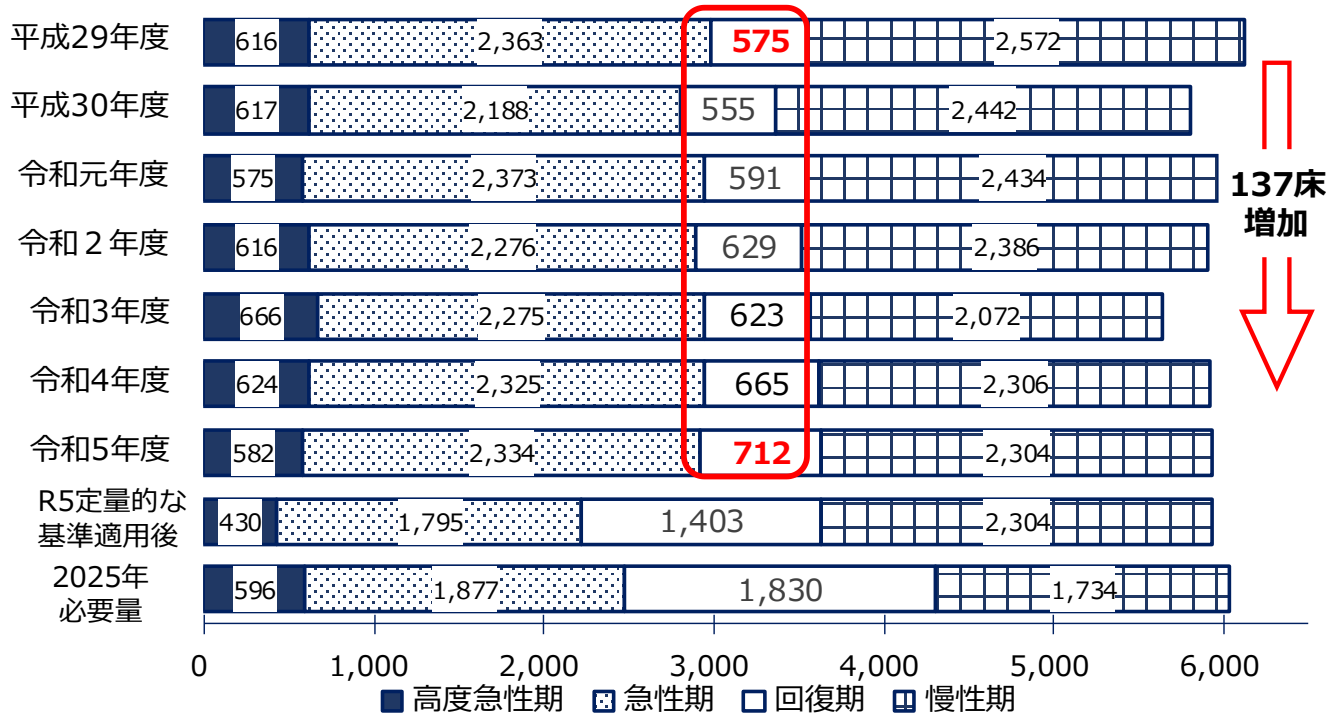


（出所）病床機能報告より作成

【北多摩北部】機能別病床数の状況②

- ・回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和5年度では 137床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和5年度）



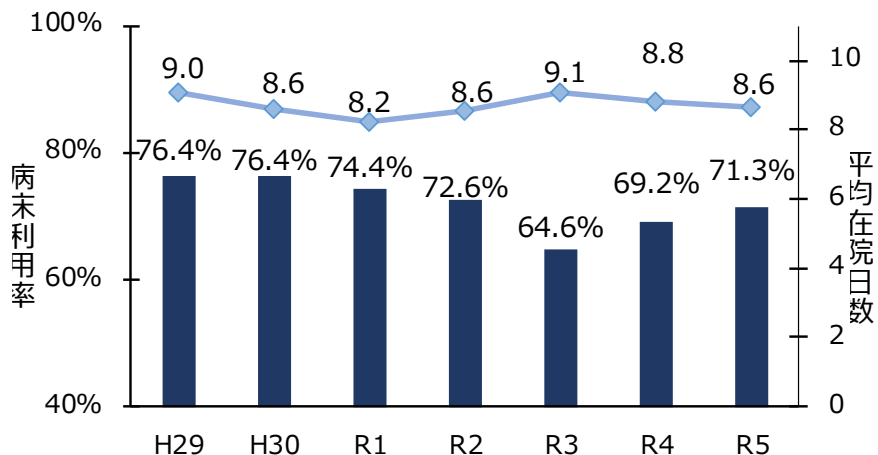
注 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



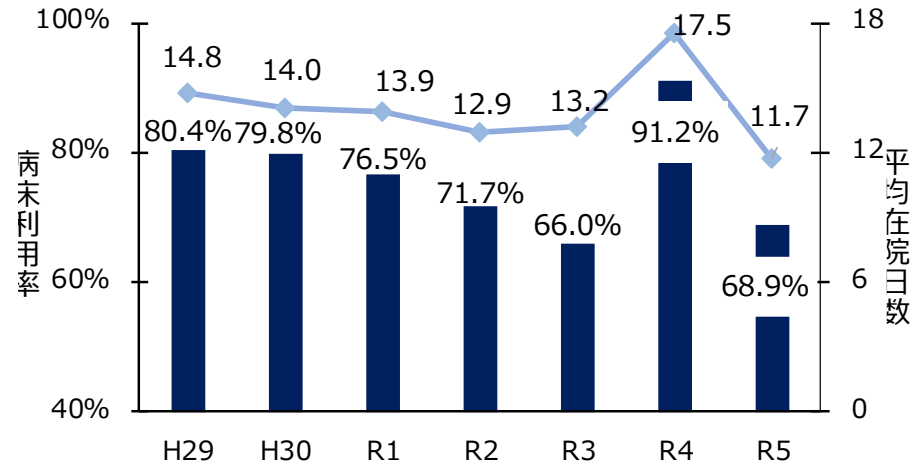
（出所）病床機能報告より作成

【北多摩北部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

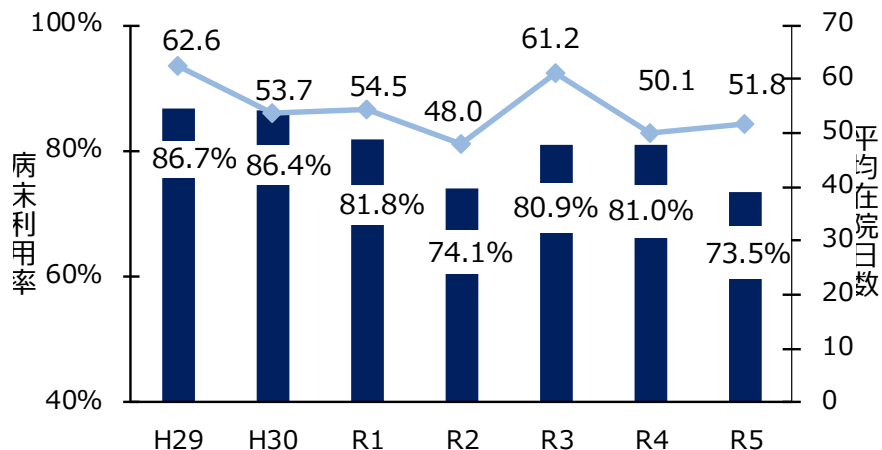
高度急性期



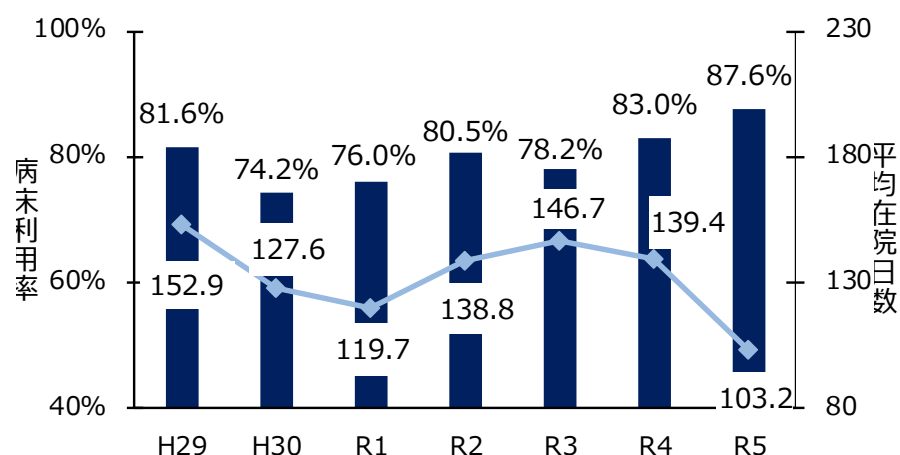
急性期



回復期



慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度～令和5年度報告は、報告前年度4月1日～報告前年度3月31日の数値

病床利用率 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 = $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

■ 病床利用率
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成